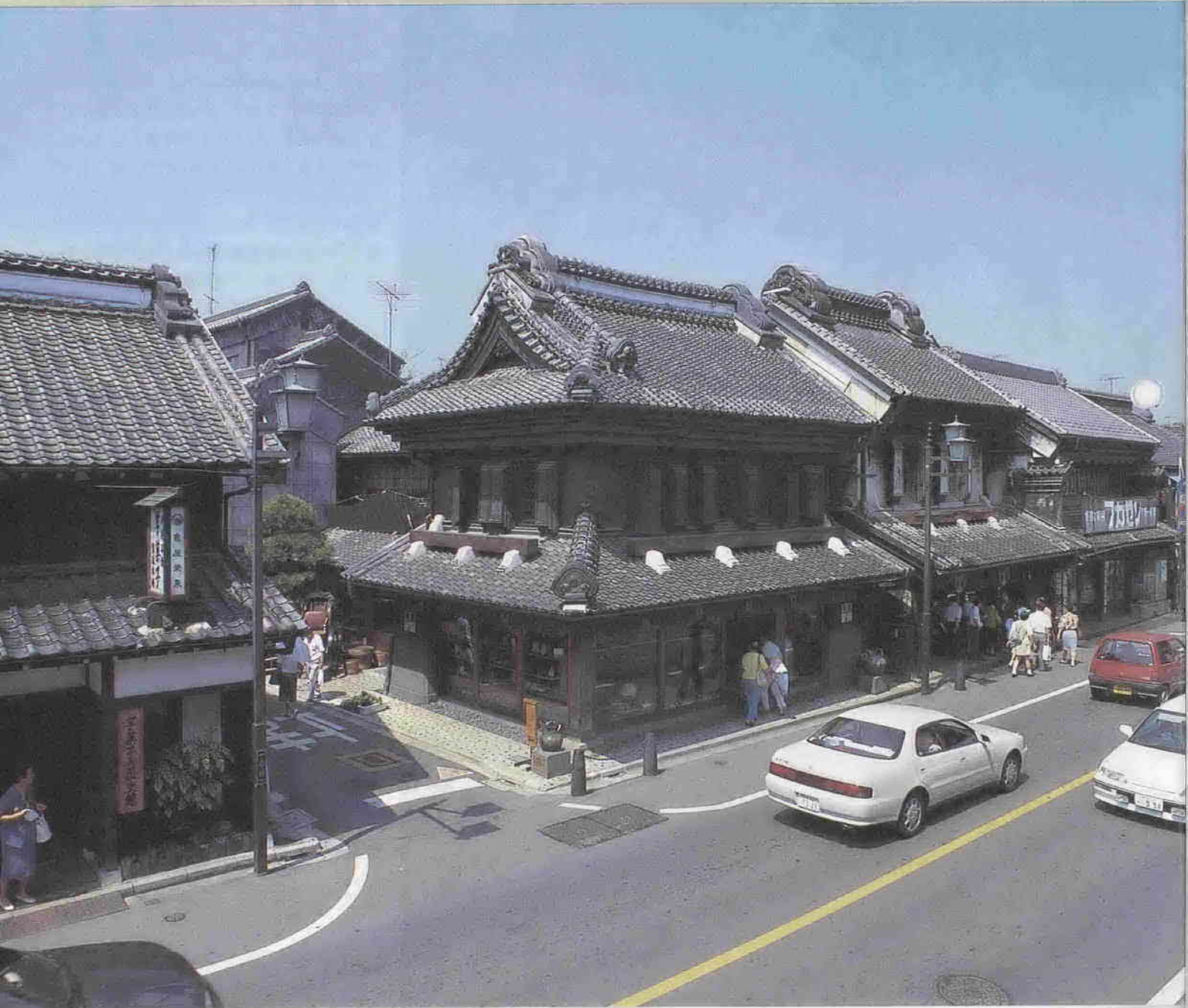


■川越まつり	2
■ホームヘルパー養成研修・レポート	4
■オッフエンバッハ市訪問	22
■市長への提案から	25
■川越産業博覧会	27
■第13回川越市民コンサート	29

川越景観百選⑦・一番街の町並み



# 川越まつり

江戸情緒たっぷりの川越が、江戸らしさを増す「川越まつり」。十月十四日金の「宵宮」、十五日(土)の「ひっかわせ」。けんらん豪華な山車が蔵のまちに映え、祭り囃子に胸の高鳴る秋の小江戸・川越をお楽しみください。

## 山車のり

- 14日(金)、午後6時～9時  
連雀町交差点から札の辻交差点にかけて。
- 15日(土)、正午～午後1時30分  
松江町交差点から南北にかけて。

## ひっかわせ

- 15日(土)、午後7時～9時  
札の辻、仲町、連雀町、本川越駅前、松江町、市役所前の各交差点。

※土日、交通規制がありますので、ご注意ください。

## 今年の祭りに参加する山車

- ★元町二丁目(山王)
- ★元町一丁目(半若丸)
- ★大手町(天細女命)
- ★松江町二丁目(浦島太郎)
- ★三久保町(源頼光)
- ★仲町(羅儀王)
- ★赤軒町(三輪男)
- ★中原町(河越太郎)
- ★連雀町(太田道隆)
- ★松江町一丁目(龍神)
- ★西山仙波町(素戔嗚尊)
- ★銘富町一丁目
- ★通町(鏡造)
- ★藤田町(徳川家康)
- ★今成町(天細女命)
- ★仙波町二・三・四丁目
- ★南通町

# 未来の私たちは、 現在よりも 年をとっていきます。

私たちが暮らしている「現在」には、これまで歩んだ過去とこれから歩む未来があります。現在の私たちが過去を振り返るように、もしも、未来から現在を見る事ができたら、私たちが高齢社会の問題に対して行うことは、決めやすいかもしれません。しかし、それは不可能なこと。ところが、未来は、時の流れとともに現在になり、そのときの私たちが確実に現在より年をとっています。

## オリエンテーション ● ホームヘルパー養成研修レポート

川越市では、「川越市老人保健福祉計画」において、平成十一年度に必要なホームヘルパーの数を百八十三人と設定。二十四時間のケア体制を実現できるようにホームヘルパーの養成および研修の充実、強化を進めていく計画です。

今回行われたホームヘルパー養成研修三級課程は、高齢者、身体障害者・身体障害児および精神薄弱者・精神薄弱児の多様化する需要に対応した適切なホームヘルプサービスを提供するため、必要な知識と技術を持つホームヘルパーの養成を目的としています。カリキュラムには、講義十七時間、実技十六時間、実習八時間に加え、視覚障害者や車いす利用者のケアに関する五・五時間の内容が組み込まれています。

研修に参加できる人数は限られてしまいましたが、多くの方に研修の場面に触れ、高齢社会が直面する課題の一部を知っていただくため、養成研修の講義とテキストを基に広報課でまとめ、レポートという形でお知らせします。

## ホームヘルプサービス入門 ● 高齢者福祉と在宅支援

オリエンテーションが終わり、緊張した雰囲気の中、十一日間の研修が始まりました。

●一人暮らしを支える社会

人生八十年の長寿社会を迎えた日本。二十

一世紀には四人に一人が高齢者になり、年金や介護などさまざまな点が問題になってきます。また、財源をどうやって確保するかなど、現在、高齢福祉問題には、模索中の部分もあ

ているため、家族を頼れない実態も見逃すことはできません。

日本人の同居意識では、元気なときは別居し、状況の変化によって同居を考えるようになります。しかし、そこには住居の広さ、建物の構造、地域へのなじみや愛着などの問題が生じます。将来のことを考えると問題解決の努力は、現在から行っていかなければならないことがわかります。

### ●老人福祉のあり方

老人福祉法の改正により①在宅福祉サービスの推進②在宅福祉サービス、施設福祉サービスの市町村への一元化③市町村および都道府県老人保健福祉計画の策定等に対し、市町村が積極的に取り組んでいくことになりました。また、サービスの形態も施設福祉から在宅福祉に移行し、老人施設は、社会に参加するために活用していくなど柔軟に使うことを考えていくことになっています。

## 介護概論 ● 家族だけでは支えられない

### ●介護の社会化

介護とは身体的にも、精神的にも自立できなくて援助が必要な人へ生活面の支援をすること。介護が、一つの仕事として社会的に求められている理由は、ライフサイクルの変化にあります。

平均余命が延び、人生八十年という時代になりましたが、高齢者の半数は何らかの病気をもちながら生活しています。例えば、老人性の痴ほうは、六十五歳以上で百人に四人、八十五歳以上では四人に一人という割合です。これに対して家族が多ければ、だれかが見ることができたのですが、核家族化のため、家の中に介護力がなくなり、外に求めるように

なりました。こうして、介護の社会化は、特別な問題ではない、私たちのだれにもかかわる可能性のある問題になってきます。

高齢者には、ヘルパーに来てもらいたくない、福祉制度を受けたくないという意識があるようです。それは、かつての貧困を救済するという印象を持った「福祉」という制度を受け取ることが「恥ずかしいもの」と考えるからといわれます。しかし、孤独な一人暮らしの方は、訪問者があると「帰したくない」という気持ちに駆られ、引き止めようとするように、ヘルパーの訪問自体を拒むものではありません。このことについて、時代の変化に

### ●ホームヘルプサービスの課題

ホームヘルパーの業務は、①家事援助(調理・洗濯・掃除・買い物ほか)②身体介護(食事・排せつ・入浴・清しきほか)③相談・助言に分けられます。

●ホームヘルプサービスの課題

現在、ホームヘルプサービスの課題は、福祉・保健・医療の連携とされています。ホームヘルパーは、医師、保健婦、ケースワーカーなど関連機関との連絡のために各ケースの状況や本人および家族の考え方や対応を十分に把握しておく必要があります。

また、サービスを受けたい時間がヘルパーの勤務時間以外の起床・就寝などの一定の間であることなども課題にあげられます。

そうしたことは、事例を検討したり、ニーズに応じて新しい援助方法をくふうしたりすることによって解決が図られていくこととなります。

ホームヘルパーの業務は、①家事援助(調理・洗濯・掃除・買い物ほか)②身体介護(食事・排せつ・入浴・清しきほか)③相談・助言に分けられます。

ホームヘルパーの業務は、①家事援助(調理・洗濯・掃除・買い物ほか)②身体介護(食事・排せつ・入浴・清しきほか)③相談・助言に分けられます。

### ●介護の特徴

介護を必要としている方が、さまざまな人と交流を図りながら、持っている能力を最大限に生かして、できるだけ自立した生活を快適に営めるように日常生活を援助することが介護の目的です。介護は、それを必要とする方にとって必需性があり、きわめて身近なうえ、医療とのかかわりを持った仕事といえます。

### ●介護の原則

①個別性の重視

人には、長く生きてきた生活の歴史があり、好き嫌いが異なります。今までの習慣から形成

## 暮らしやすい「まちづくり」

ホームヘルプサービスは、デイサービスやショートステイなどと並び、在宅の老人福祉に関する重要なサービスとして位置づけられています。これからの高齢社会では、人の果たす役割が重要になります。しかし、そうした人材の確保および育成は、一朝一夕にできるものではありません。そういう意味で川越市における第一回のホームヘルパー養成講座が行われることになりました。参加された皆さんには、ホームヘルパーとして、すぐにも現場で活躍していただかなければならないのが現状です。それは、皆さん一人一人が、今後の福祉についてきわめて重要な役割を果たすことにもなります。それだけに期待も大きいものがありますので、頑張ってください。

また、市民の皆さんには、介助や介護について理解を持ち、暮らしやすいまち、ものより心を大切に温かいまちづくりにご協力をお願いします。



川越市長 舟橋功一

## ホームヘルプサービスを受けるとき

高齢者、障害者およびその家族などからホームヘルパー派遣の申請を受けると、市では、ケースワーカーなどがその状況を調査し、サービス内容を決定します。その後、社会福祉協議会ほかに依頼し、決定したサービスに基づいて提供者であるホームヘルパーが派遣されます。

問い合わせ：高齢福祉課課保護係  
内線2046



- ①申請＝派遣を必要とする方が高齢福祉課に申請
- ②調査・決定＝ケースワーカーまたは保健婦が実態を調査し、行うサービスを決定
- ③依頼＝決定した内容を委託先機関（社会福祉協議会・真寿園）に依頼
- ④活動＝決定された内容に基づいて担当ヘルパーが活動を実施
- ⑤手数料＝活動記録簿により市が手数料を決定

されたものを勝手に修正することは許されません。

②残されている機能を最大限に生かす  
日常生活の介護の場合、必要以上の援助は本人のためになりません。自分ですることに喜びを感じさせ、自立性を高めるようにしてください。

③自己決定の尊重  
人間は、主体性と意思を持っていますから、自分の行動は自分で決定するのが本来の姿です。

④生きる喜び  
障害に直面した方は、自信喪失、絶望感、劣等感にさいなまれ、生活が消極的になることがあります。障害の苦痛よりも精神的な苦痛が影響します。むやみに励ますのではなく、

気持ちに沿いながら考えの転換を援助し、勇気と希望につなげることを考えてください。

⑤心の交流  
ほけても、感情は残っています。プライドを傷つけないようにプラスの体験を持たせ、人と人とのつきあいを大切にしてください。

⑥検討と研究  
プライバシーの尊重は大前提といたうえで仕事に役立つために事例を検討し、研究を重ねることが必要です。

●高齢者の機能  
ヘルパーは、二時間の時間に合わせて仕事を考えますが、食事は時間をかけることも必要です。ちぐはぐにやっていると、いいケアになりません。自分たちが行っているふだんの自然な生活を思い起こして介護してください。

### 家事援助入門 ●相手に映る自分の姿

#### ●ヘルパーとして

それまで世話をしてきた脳こうそくの義父が亡くなり、家庭奉仕員の募集記事を見て社会福祉協議会に入った市川敏子さん。

病状が急変したため、目の前で担当した女性の死をみとつたこと。痴ほうの症状が出てきた女性の年金証書でトラブルになったこと。長く生きられない筋ジストロフィーと懸命に戦っていた子から学んだこと。二十年間でいろいろな方の援助をしてきて、ヘルパーどうしの交流や、自分のかつともありましたがいずれも忘れられないことばかり。「嫁、しゅうとめの立場について冷静に考えることができました」という市川さんの体験談は、実に細かなところまで配慮したものでした。

#### ●介助の現場から

視覚障害の方と買い物に行つて「重い」とつてくださいます。また、利用者からの金銭は預からないようにしています。どうしてもという場合は、例外として預かり証を作っています。

衛生管理が大切ですが、台所なども、相手の気持ちになって使うようにしてください。料理などについても、押しつけることのない

か「疲れた」とか何気なく出たことばでも、「世話になつていて」と考える利用者の心を痛めることもあります。障害を持つ方の場合、周りの目を気にしながらも一生懸命に生きてきて、複雑な心境があると思います。それなのにヘルパーが何気ないことで相手を傷つけてしまったらどうでしょう。同じ内容のことでも言い方によって、受け止め方も異なります。自分の行っていることが相手にとってどういうことか考えるようにしてください。利用者の背景、家庭の深い事情をわからないまま自分の意見を言うのは危険なことです。ほかのケースのことを話したりすると「うちのことをほかで言っているんじゃないか」と思われます。関係者以外のことでも話さないように注意してください。知った秘密は、ほかには漏らしてはいけないものです。

靴の脱ぎ方、頭の下げ方などからも相手に与える印象が違つてきます。何事も節度を持って行うようにしてください。会話も相手の気持ちを考えて、聞きたいことは何だろうと考えて話すこと。話相手がいらないため、一日中テレビを見ている方も多く、会話したい気持ちを持っていきます。中には、重複する話もありますが、気持ちよく聞くことが大切です。年齢者は、強がりや言うけれど本音ではない場合があります。その呼吸をつかまないといいコミュニケーションは成り立ちません。仕事時間のことでも考えながら上手に話をするようにしてください。

相手のペースを尊重することが基本。尋ねるタイミングは訪問するうちにわかるものです。体験からの話の中には、研修の参加者が、意外に思つたような反応を示したのもありました。しかし、話の本当の意味は、現場で確認しなければわからないことなのかもしれません。

### 医学基礎知識 ●生きる希望が持てる人生

#### ●楽しい人生を送る

人間としての尊厳、活動を維持しながら長寿をまっとうすることが私たちの願いです。現在は、八十五歳が平均余命ですが、疾病がなくれば十年は寿命が延びるだろうとも言われています。ところが、病気がなくても生物には限界があり、最終的に老いに勝つことはできません。しかし、その死を少しでも先に延ばし、人生を楽しむことが生きる目的になるのではないのでしょうか。また、生きる希望の持てる楽しい人生であつてほしいと考えます。

#### ●老化について

老化とは「加齢」ということができます。人間の身体は二十五歳ぐらいまで成長し、その後、四十歳代後半ぐらいから少しずつ老化現象が見られるようになります。

この老化に伴う機能の低下と身体の変化は、生物界においては普遍的な現象です。一つの個体、どれをとつても老いない生物はいません。すべてが、外からの影響ではなく老化し、途中で止まること、元に戻ることもありません。

老化すると身体のパランスがくずれ、若いときに比べ、復元力がなくなつてきます。機能の低下が起こり、心臓やじん臓の働き、肺

い。おむつには抵抗があるため、着けてもらうためにはくふうが必要。「自分で実際におむつをしてみると、される人の気持ちがわかる」と言います。

介護には、医学に関する多少の知識が必要です。問題を見つけて、訪問看護婦、保健婦に知らせたり、ときには病院へ行くことを勧めたりすることもあります。

#### ●介護は長期戦

いずれにせよ介護は長期戦。十年は一般的なことです。学ばせてもらつていると感じるまでは「どうして私がしなければならぬのか」というジレンマに陥ります。在宅ケアといつても、一人では無理です。皆に支えられるから介護ができるものです。

ように注意が必要です。確かにいいことでも受け入れてくれる土壌を作らないと難しくなります。

洗濯物の洗い方、干し方、干す向き。買物の仕方、買う場所。掃除機のかかけ方、ふき方、掃除する場所の順序、水の使い方など利用者尋ねてみてください。細かいことでも、

活量などが低下するほか、ぼうこうがいしやくしたり、尿道の括約筋の調節力が衰えたりして排尿困難や尿の失禁が表れやすくなります。骨がもろくなる、歯が悪くなるなどの症状も出てきます。

高齢になると運動能力も低下します。また、感覚器の働きが衰え、視力や聴力も低下します。

視力では、白内障の出現、高血圧や糖尿病による網膜の病気が関係してきます。聴力では、特に高い音が聞き取りづらくなるため、女性が話す場合などは、聞き取りやすいようにゆっくりと話すことが必要になります。

●加齢による変化と生活  
精神的特徴として高齢者には、さまざまな

不安、孤独、うつ状態、愚痴、繰り返す語が多くなるなど、精神的な変化が表れます。

高齢者の骨は、折れやすいうえに治りにくく、筋力の回復にも時間がかかります。このため、ちょっとした段差につまづき、骨折しやすく、そのことが原因で寝たきりになってしまうことがありますので注意が必要です。

尿道や肛門の括約筋が弱くなっているため、尿や便が出てしまうことがあります。失禁した場合、二次的に起こる皮膚炎などを防ぐため、身体や衣類を清潔にしてください。恥ずかしいため、失禁しても言わないことがあります。周囲の方が本人の気持ちを傷つけないように世話をすることが必要です。

●老年病  
高齢者の代表的な病気というが高血圧、心疾患、脳卒中(脳血管疾患)、悪性新生物(がん・白血病・脳しゅよう)、骨粗しょう症、前立せん肥大、肝硬変、じん臓病、肺炎、慢性関節リウマチ、痴ほう、パーキンソン症候群などがあげられます。「人間は動脈とともに



理学療法士 浅野信一さん  
何も意識せずに自分の力で行動できることがノーマライゼーションの基本的な考え方です。



新井時子さん(左) 新井紀子さん(右)  
私たちは、不自由だけれども不幸ではありません。目的に向つてやるべきことをやっています。障害者が、ヘルパーさんの協力で外に出る喜びを感じ取つてほしいと思います。



川越市社会福祉協議会 家事援助係長市川敏子さん  
家事援助で家庭を回り「わかつてくれたかな」と思うころに変わるのは少し残念な気持ちでした。



川越キングスガーデン栄養士 小池孝子さん  
健康食品といつても一つの食品ですべての栄養は補えません。パランスのよい食事をしてください。



真寿園栄養士 高橋康子さん  
毎日の食事は長期的に見ると、生活と健康の質を維持し、健康全般に影響する大切なものです。



埼玉県生活福祉部高齢者福祉課 在宅福祉係長 田口伸さん  
保健・福祉・医療の連携を考えてみるとそれぞれの内容に重なる部分があることがわかってきました。



山口病院医師 竹村信男さん  
人間としての尊厳、活動を維持しながら長寿をまっとうするのが私たちの願いです。

用語解説

オリエンテーションⅡもこの進路・方向を定めること。
高齢者は、症状がすぐに表れないほか、症状をうまく表現できなかったり、多少の痛みは我慢して言わなかったりします。周囲の人の注意が必要です。また、抵抗力、気候や環境などの変化に対して順応する能力なども低下。反射的な運動に時間がかかりますので、やけどや車の通過の際、とっさの危険回避が遅れがちです。それぞれの特徴を知り、周囲で気をつけるようにしなければなりません。

ゴールドプランⅡ平成元年に国が定めた「高齢者保健福祉十か年計画」。二十一世紀に、すべての人が健康で生きがいを持ち、安心して生涯を過ごせる高齢社会の実現を目指しています。

ケースワーカーⅡ社会福祉主事の資格を持ち、高齢者について相談にのりたり、福祉事業と利用申請者との調整やホームヘルパーが提供するサービスの内容を決定したりします。

平均余命Ⅱ年齢別死亡率に基づいて計算した生命表によって、あと何年生きるかを年齢別に計算したもの。零歳の平均余命を平均寿命といいます。

記録力Ⅱ記憶の第一段階で経験し、学習したことを覚えこむ力。

介護と介助Ⅱ介護は病人などを介抱し、看護すること。介助は起居・動作などを助けること。

じよくそうⅡ長期間寝たきりのため、衣類・寝具などにより圧迫される部位に生じるえそ（腐敗・融解）のひとつ。床ずれ。

ごえんⅡ食物などがえんげ（飲み込み）されずに誤って気管支内に入ってしまうこと。肺炎の原因になることもありま

在宅介護支援センターⅡ寝たきりまたは痴ほうの高齢者とその家族の介護に関する相談、介護方法についてのアドバイス、介護機器の紹介や指導などを行っています。

真寿園 ☎26-1166
西部診療所 ☎34-4000
ノーマライゼーションⅡ障害のある人もない人も平等に社会参加しながら生活できる社会が普通（ノーマル）の社会であるという考え方。

高齢者は、話相手を欲しがります。訪問の様子をうかがうとヘルパーが生活の支えの一つであることがわかります。
一方、訪問するヘルパーには、よその家庭で家事をすることに不安があります。しかし、それは「慣れ」が解決してくれるもの。ときには、心配が取り越し苦労になり、その場になると簡単にできることもあります。訪問するうちになじみ、回数を重ねると、親しみ、信頼が生じるそうです。
訪問して、一番緊張するのは玄関。来てく

●利用者ヘルパー
左の事例のように、利用者が自分の意思を貫くのが、幸せかどうかという問題もあります。また、本人はちゃんとしていても、周りの人の不安や迷惑になっている場合も考えられます。原則的に援助は、希望に沿った形で行なうべきものですが、変化が必要なものもあるなら、精神面と生活習慣を尊重したうえで、意思とは異なる援助が考えられます。
ヘルパーを楽しみにしている高齢者はたくさんいます。近所の人と話をする機会の少な

ケースとヘルパー

●利用者ヘルパー

左の事例のように、利用者が自分の意思を貫くのが、幸せかどうかという問題もあります。また、本人はちゃんとしていても、周りの人の不安や迷惑になっている場合も考えられます。原則的に援助は、希望に沿った形で行なうべきものですが、変化が必要なものもあるなら、精神面と生活習慣を尊重したうえで、意思とは異なる援助が考えられます。
ヘルパーを楽しみにしている高齢者はたくさんいます。近所の人と話をする機会の少な

生きる」といわれ、高血圧、心疾患、脳卒中などは動脈硬化が原因となる病気です。ただし、動脈硬化は若いときから起こっているの

●老人性痴ほう
痴ほうとは、脳の器質的な障害により、知能が持続的に低下したり失われたりすることです。大きく「脳血管性痴ほう」「老年痴ほ

障害者の福祉 やさしい目が支えになって

●映画「生命のふれあう街を」

福祉会館建設にあたり、反対派と賛成派が対立。障害者への理解を求めながら話し合う機会を持ち、今後さまざまな協議を重ね、皆で生命のふれあう街をつくらうとする映画を視聴しました。

●障害者の福祉

「障害者」とは、先天的か後天的にかかわらず、身体的または精神的な能力の障害のために通常の個人または社会生活に必要なことを自分自身で確保することが難しい人を意味します。障害者の福祉には、個人の特徴である機能障害とそれによって引き起こされる能力低下、それを持つことによって生じる社会的不利について正しい理解が必要です。

障害による機能や能力の低下については施設や機関で訓練すること、さまざまな福祉サービスを受けることによって改善や向上を図れますが、社会に参加するには地域や住民が障害者をどのように受け入れるかにかかって

障害者の生活にとって、周囲の人がどうやって援助するかによって状況は異なります。もしも、偏見や差別意識を持った人がいるとすれば障害者の社会参加は難しいものになってしまう。
国際連合は、一九八一年の国際障害者年にあたり「完全参加と平等」をテーマとしました。完全参加と平等とは、障害者みずからが社会生活と社会の発展のために能力を発揮し、ほかの人々と同じ生活条件および社会的・経済的發展によって生み出された利益を社会の一員として平等に受けることです。

●障害者を支える社会

生まれつきの障害者は少なく、後天的に障害者になった方が、九〇パーセント。その多くは、老人性のもので、私たちが私たちの家族にとっても他人ごとではない問題であるといえます。
だれでもそうなる可能性があるのに別の人

●高齢者の体の保持上の注意

高齢者は、症状がすぐに表れないほか、症状をうまく表現できなかったり、多少の痛みは我慢して言わなかったりします。周囲の人の注意が必要です。また、抵抗力、気候や環境などの変化に対して順応する能力なども低下。反射的な運動に時間がかかりますので、やけどや車の通過の際、とっさの危険回避が遅れがちです。それぞれの特徴を知り、周囲で気をつけるようにしなければなりません。

問のように思われていること、同じ人間のはずなのにわからない、理解しづらいというのは、私たちが接していなかったということ。知らないことについて触れないこと、接しないことが怖いことではないかと思えます。それは、高齢者についても同じ。すべてが同様にわかりあえるものではありませんが、過去のしがらみを理解し、どう考えればいいのか

手助けというのは、できないことをやってやるのではなく、残っている能力を伸ばし、生きる力を高めるため、支えになり、障害を理解することです。社会参加できる環境をつくるのがかけがえのないものです。偏見にとらわれず障害者への正しい意識を持つことは、障害者にとって援助と同じくらい力になります。社会に出てくる支えになるのは、段差をなくしたりすることあわせて優しい目で見ること。受け入れてくれる人がどれだけいるかが大切になってくるのです。

事例研究 (家庭訪問技術①)

●住み慣れたところで暮らしたい

住み慣れた場所への愛着、環境の変化への不安などから、自分から進んで施設に入りた

事例 一人暮らし老人の援助を振り返って

年齢・性別 88歳・女性
住居・家族 自家・一人暮らし
身体の状態 下半身機能障害
経過

88歳という一人暮らしのお年寄りを5か月間担当。彼女は、高齢および下半身機能障害のため、日常生活に支障をきたし、多方面にわたる働きかけが必要だった。
伝い歩きで移動するが、倒れると自分では起き上がれない。失禁しても着替えられないため、室内には尿臭があった。在宅で生活するのは無理な状態にさしかっていた。しかし、他人の援助を好まない彼女に対し、ヘルパーがどう対応できるか、何度か話し合いを持った。身体の機能が低下、食生活や体の衛生管理などが思うようにできなくなっているように思えた。栄養面、衛生面などを改善して「生活の気持良さ」を味わってもらうことを援助の目標にした。

給付されたポータブルトイレは、使われなまま洗面所の隅に置かれていた。トイレまで10分くらいかかって行くため、ポータブルトイレの方が楽ではないかと思ったが、室内での排せつは、彼女にとって考えられなかったことかもしれない。強い自立心が一人暮らしを可能にしてきた。しかし、身の回りのことが自分でできなくなったとき、それは裏目に出る。彼女の心を傷つけずにどうしたら紙おむつを使ってもらえるか、バランスのとれた食事を食べてもらえるかを考え、話の中から糸口を見つけようとした。訪問を重ねるうちに少しずつお互いがわかってきて、ここまで言っても大丈夫、聞いてくれそうだという線が見えてきた。そこで初めて献立の相談、紙おむつを使う試みを実行できた。一連の援助は、お互いの信頼関係がないと何もできないということを実感させられた。相手を理解すると適切な働きかけがしやすくなる。頑固な点も好意を持って見ることが、良い関係をつくる基礎だと思ふ。どんな人にもあきらめず、急がず、辛抱強く働きかけて変化を待つことが大切という思いを強くした。「明治生まれは頑固だから何を言ってもむだよ」ということばを耳にするが、先入観はいけない。確かに頑固な面もあるが、こちらの対応でかなり違う。私たちは、目標を掲げ、どんな状態でも成長し、変化する可能性があるということを忘れてはならない。

突然の事故により、彼女と思いがけない別れ方をした私たちヘルパーの驚きは大きかった。私たちが考えさせられたのは、利用者のライフスタイルの尊重と安全性の問題だった。確かに利用者の考えを受け入れることは大切である。しかし、安全性において判断が鈍ってきた人には、ときとして、強い態度も必要だったのではない。物を捨てず、何でも取って置く高齢者は多い。彼女の場合、電熱器やこたつの周りに物が置いてあったが、自由に動けないため、手の届く範囲に必要なものを置くことを知っていたから、多少の危険性は感じては片づけることはできなかった。週2回から週3回に訪問回数が増え、在宅支援しながら様子を見ようと話し合ったやさきの出来事だった。もっと早く施設に入所させる必要があったのかもしれない。しかし、そうすることによって自己の主義を貫いてきた気持の張りを急速に失ってしまうことも考えられた。本人の意思を尊重した結果、援助が思うようにできないこともあった。言い切れない複雑な思いである。在宅での生活を支えるにつき、私たちはもっと考え、行動すべき点が残されていたのではないかと思うと残念でならない。訪問回数が増え、すべてこれからという時だったのである。

まとめ
課程を振り返り考察し、今後この事例をどう他の利用者に生かしていくか。
①利用者の状況をできるだけ早く正確に把握し、適切な援助。
②細やかに観察し、ADL(日常生活動作)の低下等の変化に迅速な対処。
③利用者の安全確保。特に火の元とその周囲点検と整理整頓、通路の確保等。
広報掲載のため、事例検討で用いた資料を一部変えてあります。

れてよかつたと思ってももらえるとうれしい半面、玄関であいさつしても返事がないことがいちばん心配だそうです。

●事例を検討しながら

これまでは、ヘルパーとして採用された後、実務に携わりながら研修を受けるものでしたが、福祉六法の改正などを期に、今回のような事前研修が行なわれ、質的向上が図られています。

ホームヘルプサービスの利用者はヘルパーにとって親と同世代の方。以前なら、実生活の経験や地域コミュニティが役立つこともあったように考えられます。しかし、同居率が低下する現代、そして将来、援助技術を家庭生活で養うことは少なく、自分以外の経験から得る情報が必要になってきます。

同行訪問 (家庭訪問技術②)

●ヘルパーに同行して

同行訪問では、ホームヘルパーといっしょに家庭を訪れます。

午前中の事例研究の後、昼食をとりながら訪問先について先輩ヘルパーと話す光景が見られました。「事例が、難しいケースだったので心配している」という声もあり、皆さんの不安な様子が感じられました。

ヘルパーの栗原智子さんに同行する岸山真理子さんと榊マユさんが訪問する松原春吉さん(81歳・的場)・ふささん(78歳)夫妻宅を取材させていただきました。

●仲のいい夫妻に触れて

訪ねると皆さんすでに仕事に取りかかっています。岸山さんは、腰を痛めている春吉さんに頼まれて自転車の空気入れ。春吉さんにとって自転車は、買い物などに出かけると

事例を基にした検討会では「自信がなくなった」「子どもや親のおむつは替えたことがあるが、人のことになると不安」「自分の性格から変えなければいけない」などといった研修参加者の不安が募ったようでした。しかし、意見交換するうちに「皆さんのことを聞いていて不安は自分だけじゃない」と意識を新たにしたようです。

家事援助についての質問を受けた先輩ヘルパーは、一つ一つ状況を説明します。そこには、自分と自分以外のヘルパーが、さまざまなケースで培った経験が生きているように思えました。それぞれのケースからは、すでに活動しているヘルパーも学ぶことが多いと言います。

●チームワーク

いつもより、人がいて

きに欠かせないものと聞き、慣れない手つきながらポンプを操作する岸山さん。春吉さんが優しい目で見ていましたが、一生懸命の岸山さんは気づかなかったかもしれませぬ。

部屋の掃除を済ませると布団干しを手伝いました。一階の部屋とはいえ、松原さん夫妻だけでは、難しそうな布団干し。ちょうどこの日は、梅雨の合間でいい天気でした。「風があつて気持ちいいね」とふささん。夜は、さっぱりした布団で心地よく眠れたことでしょう。

「ほかに何かありますか？」と仕事を尋ねる岸山さん。「遠慮なくおっしゃってください」と榊さん。ふささんは、戸惑うように「申し訳ないからねえ」とほほ笑んでいました。早く片付いたので、会話の時間ができました。松原さん夫妻は、同行訪問があることを楽し

導しながらも、松原さん夫妻とさりげなく会話を交わしている姿が、とても自然で、それ

グループディスカッション (家庭訪問技術③)

研修参加者が、同行訪問で感じた問題点をまとめ、社会福祉協議会の星野輝江次長が回答しました。

●仕事の内容を決める

ヘルパーの仕事の内容は、ヘルパー自身が判断して決めるものではありません。ヘルパーの利用申請を受けると川越市のケースワーカーや保健婦が訪問して、自立のために必要な援助を決めるのです。援助の決定後に状況の変化が見られる場合は調整を行います。しかし、ヘルパーは、言われたことだけを行うというわけではありません。訪問の回数にかかわらず、ヘルパーはそうした状況を把握していなければならぬのです。

●自立のための援助

障害者にとって火災などの不安を感じた方もいたようですが、全盲の方でもいろいろなことを自分の力でやっていきますので必要以上の心配は禁物ということがあります。いろいろな障害、さまざまな程度がありますが、だからといって、かわいそうと考えないでください。その方が地域の中で暮らして行きたい

調理講習 (病人食・老人食)

●栄養バランスを考えて

栄養素は毎日、過不足なくとることが大切です。栄養素をバランスよく摂取するためには、数多くの食品を六つの食品群から幅広くとり、組み合わせることが目安です。

●六つの基礎食品群

- 第一群 魚・肉・卵・大豆製品
- 第二群 牛乳・乳製品・小魚・海藻
- 第三群 緑黄色野菜
- 第四群 その他の野菜・果物
- 第五群 米・パン・めん・芋
- 第六群 油脂

いろいろな調和があること

●生活活動に見合ったエネルギー  
交通機関の発達、職場の機械化、家庭における省力化の進展により、体を動かして消費するエネルギーは減少する傾向にあり、エネルギーの過剰摂取をもたらしています。積極的に体を動かしたうえで、それに見合ったエ

「皆さんの後には、いろいろな人がついてるので不安や悩みを一人で背負わないようにしてください。ヘルパーの活動は、経験のある人から教えてもらい、自分で試行錯誤しながら行っていくものです。仲間としていっしょにやっていくことがヘルパーにとって最も必要なこと」ということばに在宅福祉を支えるヘルパーの姿勢がうかがえました。

これは、一般の方が、家庭で高齢者の援助をするときにもいえることかもしれません。一人で考えているのは、負担が大きくなります。市の相談や、在宅介護支援センターなどを活用するとその負担は、いくらか軽減されることにもなります。

●それぞれ一生懸命

感想をうかがってみました。「窓から顔を出されてニコッとされ、安心しました」と榊さん。「とても心配していた」と岸山さん。二人とも神経を使っていたようでした。

緊張しながらも、松原さんの希望を尋ねながら援助の仕事をしていった二人。一方、ヘルパーの栗原さんは、岸山さん、榊さん

が大切に思えました。異なる状況の中で皆さんがそれぞれ頑張っ

仕事の中から見つけるもの

助を発見することが求められるのです。ヘルパーの仕事は毎日が継続の仕事です。利用者の自立を目指し、ヘルパーがいなくても利用できるような仕方をしたい。ただし、それが一方的な導き方にな

「郷に入っては郷に従え」を忘れずにいること。そして、何かがあつたときは「私は悪くないわ」というのではなく「自分はどうかすべいいのか」を考えるようにしてください。今だからこそうい話ができますが、昭和三十八年に家庭奉仕員制度が始まったときには、ヘルパーは一人だけでした。現在のよ

うにヘルパーの活動についての基準もあいまいなところがありました。活動内容が整備されたのは最近のことなのです。そして、何よりも皆さんは、一人で活動しているわけでは

支えてくれた人がいたから

「あんだだつたらやつてもらえる」と頼まれ、まったくわからないホームヘルパー(当時は家庭奉仕員)という仕事に就いた鈴木年子さんは、川越市ホームヘルパー第一号。昭和三十八年から同四十五年まで、ただ一人のホームヘルパーとして家事援助を行なっていました。

初めての制度であるため、行政も手探り状態。当時は、他人であるヘルパーを受け入れてくれる訪問先はなく、玄関の敷居をまたぐことさえ容易ではありませんでした。それに加え、社会的な身分保障がないため、労働条件や事故などに對する不安や、ヘルパーへの冷遇などにも厳しいものがありました。

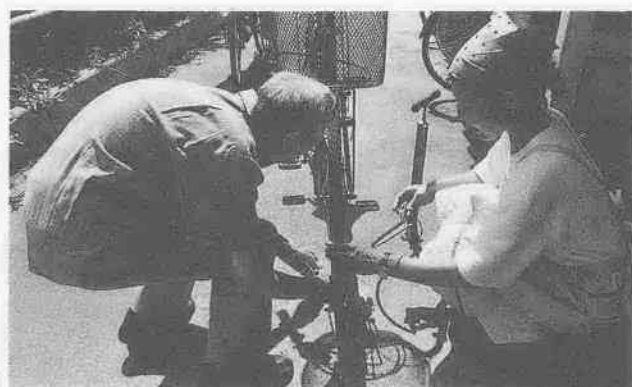
しかし、決して感情を表に出さず、ひたむきに頑張った鈴木さん。「孤軍奮闘」を助けてくれたのは、励ましてくれたり、相談にのってくれたりした周囲の人たちだそうです。「あのとき頑張れたのは、支えてくれた人がいたから。今も思は忘れません」としつかりとした口調で穏やかに話してくれました。



松原さん夫妻



おつかれさまでした



自転車の空気入れを手伝う岸山さん

エネルギーを摂取して収支バランスをとることが大切です。

### ●脂肪のとり方

脂肪の摂取量が不足すると、脳卒中や高血圧を起しやすくなるなどの問題を生じ、反対に過剰摂取が続けば、高脂血症、心臓病、糖尿病などの原因となります。脂肪は量だけでなく、質についても考えてとることが大切です。

### ●食塩をとりすぎないよう

「日本人の栄養所要量」の成人一日十グラム以下という目標を上回る事が多く、健康のため、食塩はとりすぎないようにすることが大切です。おいしく食べて無理なく減塩するために香味や酸味のある食品を使って塩分の多い調味料の使用を控えます。

### ●こころのふれあう楽しい食生活

食事の内容は豊かになりましたが、生活環境の変化などにより、家族がいっしょに食事をする機会が減っています。食事を生活の楽しいひとときとして、また、家族のコミュニケーションの場として見直すことが大切です。

### ●よい献立の条件

- ①栄養のバランスがとれていること
- ②期待感があること
- ③季節的食品を生かすこと
- ④経済的であること

### ●高血圧症の食事

- 食生活のポイント
- 1 毎日の食事に六つの基礎食品を組み合わせて栄養のバランスをとる。
- 2 食事は腹八分目に食べる。
- 3 調味料は控えめにする。
- 4 砂糖を多く含む菓子類や清涼飲料水などをとりすぎない。
- 5 アルコール飲料は飲みすぎない。
- 6 加工食品の使用を控える。

7 良質のたんぱく質を十分とる。

8 ビタミン・ミネラルは十分とる。

### 減塩のポイント

- 1 塩分の多いものは極力控える。
- 2 調味料は少なめに使う。
- 3 酸味を上手に利用する。
- 4 香辛料や香味野菜をポイントにする。
- 5 だしは手づくりのものを使う。
- 6 割りじょうゆを作る。
- 7 食品のうまみを生かす。
- 8 調理方法の組み合わせを考える。
- 9 適温で食べる。

### ●心臓病の食事

### 食生活のポイント

- 1 エネルギーのとりすぎに注意して肥満を予防する。
- 2 動物性脂肪の摂取量を控え、良質のたんぱく質をとる。
- 3 塩分を少なめにする。
- 4 新鮮な野菜、特に緑黄色野菜を毎日欠かさずにとる。
- 5 脂肪は多すぎても少なすぎてもよくないので、総摂取エネルギーの二〇〜二五パーセント程度とする。
- 6 油は主に植物油を使う。
- 7 食事は規則正しく、バランスをとって。

### 素材を選ぶ例

- 1 肉（脂肪の少ないものを選ぶ）
- 2 ロース・モモ・ヒレ・ササミ
- 3 魚（まぐろの場合）
- 4 とうろ・赤身
- 5 乳製品・卵（特に高脂血症のとき）
- 6 スキムミルク・カッテージチーズ・ヨーグルト
- 7 大豆・大豆製品（良質なたんぱく源）
- 8 豆腐・納豆

5 野菜・果物（甘くないもの）

ほうれんそう・にんじん・小松菜

### 調理のポイント

- 1 フライパンで焼くよりも網で焼く、または蒸す・しゃぶしゃぶ・ゆでるなどの調理法にする。脂分が落とせます。
- 2 いためるときは、少なめの油でさつといためる。油は高エネルギーなので注意。

### ●糖尿病の食事

### 食生活のポイント

- 1 適正なエネルギーの摂取。脂肪や砂糖を大量に含む高エネルギー食品のとりすぎを避け、肥満を防止する。
- 2 アルコール摂取は適量を守る。
- 3 野菜、特に緑黄色野菜を毎日十分にとる。
- 4 一日のうち種類異なる数多くの食品をとるように心がける。一回の食事についても同様の配慮をする。栄養のバランスがよい食事。
- 5 食事摂取時刻は無理のない生活リズムの中に組み込み、一日の摂取量はできるだけ各食事に分割、一回に大量摂取は避ける。
- 6 食事はよくかんでゆっくり食べる。

### 合併症予防のために

- 1 塩分をできるだけ減らす。
- 2 コレスステロールや飽和脂肪酸を多く含む食品を控えめにする。
- 3 食物繊維をとる。

### ●食品衛生に関する注意点

- 食中毒予防のために
- 1 清潔は衛生の基本。
- 手をよく洗う
- まな板・ふきんの日光浴
- ゴキブリ・ねずみの駆除
- 2 迅速（はやく）。
- 常温に放置しない



栄養士 田中英美子さん

献立を考えるのと合わせて食べなくなるような彩りを考え、見て明るく楽しい食事にしてください。



埼玉県立衛生短期大学助教授 野川とも江さん

これからは、人生・生活・生命に質的な豊かさを求める「クオリティライフ」の時代です。



埼玉県生活福祉部障害福祉課 主任 平野方紹さん

偏見にとらわれず障害者への正しい意識を持つことは、援助と同じくらいの力になります。



埼玉県総合リハビリテーションセンター 訓練課主任 平本敏樹さん

視覚障害者からは、健常者の気づかないようなことを知らせてもらうときがあります。

## 高齢者・障害者の心理 ●自分のことのように

### ●老いを認めること

- 購入後は手際よく調理する
- 調理したら早く食べる
- 細菌が増殖する時間を与えない
- 加熱と冷却（温度管理）。
- 細菌を加熱して殺菌する
- 加熱する食品は内部まで十分熱を通す
- 低温を利用して増殖を防ぐ
- 冷蔵庫を過信しない

### ●高齢者の食事介助のポイント

- ①顔を合わせながら口に運びます。
- ②購入後は手際よく調理する
- ③調理したら早く食べる
- ④細菌が増殖する時間を与えない
- ⑤加熱と冷却（温度管理）。
- ⑥細菌を加熱して殺菌する
- ⑦加熱する食品は内部まで十分熱を通す
- ⑧低温を利用して増殖を防ぐ
- ⑨冷蔵庫を過信しない

### ●老いを認めること

自分が年をとったということを認めるのはたいへん難しいことです。それは、高齢者の基準がいまいであり、基準があつたとしても自分が該当するかどうかはつきりしない、老いは区切りがなくゆっくりやって来るなどの要因があげられます。そして何よりも、多くの人が、若くありたい、年をとりにくいと考えていることが、さらにわかりづらいつのりにしています。しかし、そうした私たちの気持とは裏腹に老いは確実にやってきました。老化は、時間経過による身体の変化のほか、子どもの生育、退職、人間関係の減少、生活様式の変化などの出来事によって加速する場合もあります。

### ●高齢者について

高齢者の性格的な特徴としては、それぞれの個性が、顕著になったり、逆の方向に強められたりすることがあります。攻撃的な行動をとったり、自己嫌悪で孤独になったりする場合は、みずから悩み、周囲にも迷惑が及ぶことがあります。それぞれの場合で対応は異なりますが、少し距離を置いて受容的に、保

### ●障害者について

世界保健機関（WHO）の国際障害分類では、心身の障害は、機能障害・能力低下・社会的ハンディキャップの概念区分を含むものとして現れます。また、その障害が心身のどの部分に現れるかによって左記のように分けられ、それぞれが程度によって重度・中度・軽度、先天性かどうかによって先天性障害・中途障害に分けられます。

### ●障害者について

- ①視覚障害（全盲・弱視）
- ②聴覚障害（全ろう・難聴）
- ③肢体不自由（上肢障害・下肢障害・体幹機能障害）
- ④内部障害（心機能障害・じん機能障害・呼吸機能障害・ぼうこう機能障害など）
- ⑤言語障害（音声機能の障害・失語などの言語機能障害）
- ⑥精神薄弱・精神遅滞
- ⑦精神障害（分裂病・そううつ病・真性てんかんなど）

### ●福祉は自分のこととして

障害者の心理特性は、どこに障害を持つか、障害の程度、先天性か後天性かによって異なります。それは同時に心理特性に大きな影響を及ぼします。しかしどのような場合でも、温かい配慮や無理のない励ましなど適切な判断と周囲との良好な関係が適応を促すこととなります。

### ●福祉は自分のこととして

利用者の性的な問題は難しく、人間げりぎりの欲求に対してどう対応するかは大きな課題です。講義では「出会うことを理解し、生きることを相手と共有する」とありましたが、いろいろな欲望に対して人間としてどうすることができているのか。それは、一定ではない、それぞれの問題といえそうです。

仕事に携わり習得する知識、技術、仕事に対する情熱は、地域、社会を支えている人たちが、次世代を担う社会づくりに役立つものが、すべての人が同じ人間として考えることが、文化的な福祉国家としてのあり方です。福祉は、自分自身のこととして考え、自立した人間らしい生き方ができること。「地域」は、ひとりひとりの力が集まってできるものです。

## 高齢者って何歳ですか？

昭和38年に制定された老人福祉法では、65歳からが「高齢者」と決められ、そのときからこの年齢は変わっていません。これは制度が受けられる年齢として決められているものです。法律が定められてから30年が経過し、その間に平均寿命は、およそ10歳も延びています。生活するうえでは、何歳から老人であるという定義はありませんから、単に高齢者が増えているという数字や比率だけを見るのではなく、その背景となる社会的な要素をすることも大切です。





どれだけ相手の気持ちに近づけるか、難しいけど大切なこと



わかってもらう心は、距離に現れる気がします



施設で暮らす人の生活を考えてベッドメイキング



こぼしていても自分で食べることが尊く思えます



イメージだけでは施設をわかることはできません

### 車いすガイド ● ノーマライゼーション

#### ●考えなくても動けること

車いすを利用することによって生活圏を狭められるものではないけません。ある公的機関が二階建ての庁舎を建設する際にエレベーターを設置するかどうかが問題になったことが報じられました。条例によれば設置しなければいけないのですが、建設する側の考えは、車いす利用者については職員の方で運ぶというものでした。

「人が運ぶと、障害者福祉にかかわること意識啓発につながる」という一つの考え方もありませんが、職員に車いすを利用する方がいる場合は、そのたびに対応するのでしょうか？ 重い電動車いすの場合は運べるのでしょうか？ または電動車いすの場合は介助のものに乗り換えてもらうのでしょうか？ などと考えてしまいました。

思ったことを意識しないで行動できることが自然の姿であり、周囲の人への負担や配慮に心を煩わせることは、ノーマライゼーションの考え方ではないように思えます。

#### ●介助者として

介助者として大切なことは次のとおりです。急な動き、不安定な介助は恐怖心を起こしたり関節を痛めたりするなど、危険が伴いますので相手の表情を見ながら行なうようにしてください。「一、二の三」などかけ声で勢いをつけたりすることはやめましょう。ただし、動作を説明するなどの声かけは大切です。

無理な姿勢で介助すると相手に危険なばかりでなく、自分の体を痛めることにもなりかねません。特に、前傾姿勢は介護者が腰を痛めやすいため、注意してください。また、体を鍛えておかないと思わぬところで事故につ

ながることも考えられます。

基本的には、自分が介助される気持ちになって介助することです。いつかは自分もお世話になるかもしれないということも考えられます。お互いに理解し、対象者にも力を出してもらおうようにしてください。体を動かしてもらったことは、介助が楽になる以外に、残っている機能を生かすことにもなります。

自分が精神的に疲れることがないように心がけることが大切。場合によっては、専門家に相談することも必要です。

#### ●障害の種類と介助の注意点

車いすを利用する方の障害といってもさまざまです。

片まひは、体の左右いずれか半身のまひです。介助するときは、健康な側の上下肢をうまく使ってもらいます。このとき、まひ側の腕などが体の下になったり、何か当たったりなどして関節を痛めやすいため保護するようにしてください。脳卒中などの場合は、この片まひの状態になります。

四肢まひは、両上下肢・体幹のまひです。車いすへの乗り降りのときなどに介助量が多くなり、負担がかかります。このため、一人で無理なときは、二人以上で介助するようにしてください。この場合も関節に無理な負担をかけないようにしてください。

寝たきりのため、適当な運動を行えない(行わない)ことにより、全身の機能が低下したために車いすを利用することもあります。この場合は、骨や関節がもろくなっているため特に急な動きは危険です。生活しながら少しずつ機能を高め、体力を回復させるようにしてください。

車いすは、下半身に障害のある人が利用している、手は使えると考える方もいらつしやるのではないのでしょうか。しかし、病気や障害の種類によっては、手が自由に動かない場合もあります。

#### ●介助を行ってみました

ベッドから車いすへの移動を実際に行ってみました。移動のとき、ベッドや車いすは、動かないようにしっかりと固定。介助のポイントとしては①容易な方法②障害者・介助者にとって安全な方法③障害者に協力してもらえ方法を用いることがあげられます。

動作には、声をかけてコミュニケーションをとることが大切ですが、障害などにより、ことが発せられないこともあります。その場合は、専門家に相談してください。

移動介助の場合、身体を前に倒して、重心を持ってきたり、かかとの位置をひざよりもうしろにすることで立ち上がりやすくなりたりするなど、介助される人の重心をうまく利用するようにしてください。

#### ●車いすに乗って

研修の参加者どうし二人一組で車いす利用者として介助者になりました。皆さんは、ほとんどの方が初めて乗った様子。最初は段差などで「こわい」という声がありましたが、慣れるにしたがって声は少なくなりました。しばらくすると真剣になって「動かすにはコツがあるね」「勉強になるわ」「いい体験をしました」と感想を語っていました。

もしも、ハンディキャップを持って車いすに乗ったら健康な状態で乗る場合とは違った印象を受けるかもしれません。

## かわごえ 友愛センター

友愛センターは、協力会員と利用会員がお互いに助け合う有償ボランティア活動です。

無償では、お互いの遠慮などにより精神的な負担が生じるため、利用料金の支払い、活動費の受け取りによって解決を図ったものです。

協力会員、利用会員ともに一年間の登録料は千円。社会福祉協議会で購入したチケットによって利用者は利用料金を支払い、協力者は活動費を受け取る仕組みです。利用料金は一時間六百円、活動費は一時間七百円が基本料金。差額の百円は、社会福祉協議会が負担しています。

入会は年度途中でもできますが、登録料は一年分と同額です。

利用会員は、六十五歳以上で日常生活の援助を必要とし、家庭内で援助が受けられない方。協力会員は、どなたでもなることができます。九月一日現在の会員数は、利用会員二百二十九人、協力会員百四十人です。

#### 問い合わせ

川越市社会福祉協議会

郭町二一八

☎25-5703



# 盲人ガイドヘルプ ● できることを少しずつ

ホームヘルパー養成研修 ● レポート

## ● 視覚障害を知ることから

視力でいうと、光をまったく感じない方または光が感じられるのみの方を「全盲」、視力が残っている方を「弱視」といいます。ほかに視覚、視野の障害など状態が異なるケースもあり、視覚障害者といってもさまざまです。視野が残っている方が視野のあるところに顔を向けたり、聴覚を働かせたりするために体を傾けることがあります。知らないとおかしな動作に思われますが、理解していれば何でもありません。

情報を伝えるとき、後天的な視覚障害の場合、ことばでの説明が可能ですが、先天的な場合は、色の理解や大きな空間のあるものの説明が難しく、それらは代わる例にあてはめて説明します。配色や服装の組み合わせは、経験で培うものです。意見を求められたらはっきりとアドバイスしてください。その場でちゅうちょして言わないでいると他の場面で言われたときにショックがあります。

障害者の情報伝達的手段として点字があります。点字は、文字に代わる六つの凸点の組み合わせを指の腹でなぞって読むものです。ただ、触覚は、年齢とともに衰えますので高齢者が点字を覚えることは難しいようです。

## ● 成人病による中途失明

目の病気よりもむしろ糖尿病で失明する方が多く、その数は視覚障害者の半分以上に及びます。糖尿病は、すい臓から出るインシュリンが不足して起こる代謝異常の病気ですが、合併症の糖尿病性網膜症を引き起こし、失明に至ることもあります。相手がどういふ病気が知らないといふ外で何かを食べるときに問題が生じることもありますので注意してください。

急な失明に比べ、徐々に失明した場合のほうが順応しやすいようです。失明した時期にもよりますが、失明して間もないと外出したいという気持ちになります。また、失明歴が長いと外出の気持ちが高まりますが、出たがらない場合は注意が必要です。

## ● 視覚障害者の移動

視覚障害者は、一般的に白杖はくじょうを用い、周囲の音や路面の種類・感触を手がかりにして歩きます。このため、地面からある程度の高さまでの様子はわかりませんが、顔の高さなどに突出した障害物がある場合はわからないため危険なこともあります。

視覚障害者の移動には盲導犬という手段もありますが、盲導犬の数が少ないという、希望者が多いため、だれにでも貸与できるというものはありません。貸与には、犬といっしょに訓練すること、犬の世話ができることなどの条件があります。

室内で移動する場合などは、手の甲を壁にあてて伝い歩きます。これは、一般の方が停電のときなどにも応用できます。

## ● ひじで情報伝達

ガイドヘルプは、ひじに手を添えてもらって案内します。ひじを貸すということは、貸したひじが自分のものとして使えないことを覚えておいてください。ひじからは、緊張感なども伝わります。それは道を案内するだけではなく、視覚障害者にさまざまな情報を知らせているのです。

## ● 向きを教える

方向を伝えるときに指で示す動作が使えません。また、相手と自分の位置関係から方向が異なる場合がありますので注意してください。

い。方向は、本人の指を持って示すこともありますが、状況によっては時計盤にあわせて説明することができます。正面は十二時、右真横は三時の方向という具合です。

## ● ガイドの導入

視覚のリハビリは、昭和四十七年ごろに導入されたもので、高齢者には訓練を受けていない方が多いようです。それまでは、自己流の盲人ガイドを受けてきたことになりましたが、やりやすいから安全とはいえません。現在、盲人ガイドは、全国共通ですから、将来的に考えると切り替えた方がいいと思われまます。ただし、一気に変えると反発がありますので注意してください。

ガイドヘルパーが同行しているときであっても白杖は所持してもらおうようにしてください。道路交通法第十四条①は、視覚障害者に道路歩行時の白杖携行、盲導犬の使用を定め、同法七十一條の二では、白杖携行者と盲導犬使用者に対し、車両の運転者に保護義務が生ずることを定めています。

## ● アイマスクをつけて

二人一組になり、アイマスクを付けた方とガイドヘルパーに分かれて実際にガイドしました。アイマスクを付けた方は、ちよつと動くにも腰がひけ、部屋を出るだけでも時間がかりました。これに精神的な負担が加わった状態を考えると複雑な気がしました。通常は、ガイドヘルパーが半歩先を歩きます。「こわい」という声が多く、つま先に神経を集中しておさるおさる進む様子がかがえました。アイマスクをした方は「すごく広いところを歩いているみたい」「まっすぐ歩いていても斜めに進んでいる気がする」と話

していました。

ガイドヘルパー役の人は「ここでこういうふうにして説明をしますが、視覚障害者役の人からは「ここでこうじゃわからないわ」という声が返ってきます。慌てるように見えています。

# 対人援助技術① ● 自分へのチャレンジ

川越市の保健婦として勤めて三十年の後、特別養護老人ホームに勤めて九年になるという町田清子さん。高齢者と接し「年齢の重さと家族に対する思いを教えられました」と言います。

## ● 老人にも明日がある

年をとると身体が拘縮して痛むんです。リハビリをすると、拘縮を伸ばす痛みがあります。「年寄りだからほっといてくれ」という人がいました。「めしだけ食わしてくれりゃいい、風呂だけ入れてくれりゃいい」と強がる人でした。恥ずかしさからくるジレンマだと思ふんですけど、こちらも「せっかくなんでやるの何よ」という気になります。そこで「早く死にたいの」って聞いたら「おれは、百歳まで生きたいんだ」といふんです。それは、すごい執念でした。「身体を使わないと長生きできないわよ」といっても「くたびれる。寝るほど楽はなかりけり、浮世のバカは起きて働け」といった具合です。ところが、人間の身体は、動かすことによって生気が得られるんですよ。そこで、生きたいなら身体を動かすことが必要ということをおわかってもらいました。すると寝ているときは、限られた世界しかないけど動くようになって世界が変わったようでした。

それでも「何が楽しみ」か尋ねると「生きていれば年金がたまる」って言うんです。孫

ように説明してしまい、伝わりません。見えないことは頭で考えてもわからないようです。ことばの難しさも感じられました。先にアイマスクをした方が、ガイドするほうがうまく感じるのには、先に見えないこ

の嫁入りのときの持参金にすると聞きました。しかし、お孫さんは、一度も見舞いに来ませんでした。着られないシャツをいつ来るかわからない子や孫のためにとっておく方もいらつしやいます。それがお年寄りの姿なんです。保健婦から今の施設に勤め、私は、地域で学ぶものとは別のものを学びました。

## ● 笑顔を大切に

ヘルパーさんが、在宅のお年寄りと接するのは、一週間のうちの何時間かというのが現実だと思ひます。しかし、重要な部分に立ち合うことがたくさんあります。そんなとき、いい意味で営業用の顔や態度で接してください。対人サービスするときには笑顔が大切です。皆さんは、川越市の福祉行政の一端を担っています。その目的があるから「公」になることができるのです。

援助される人の主体性に基づく援助を引き出すのは難しいことです。それには、いっしょに生きる気持を示し、いっしょに勉強しなければなりません。どうしたらいいか、ともに考え、喜びを味わうことが大切です。そして、最終的には「自立」を目指すこと。しかし、年とともに、減退する生理現象があることも理解してほしいと思ひます。コミュニケーションの重要な手段である「ことば」を失ってしまうこともあります。失語症は痴ほうと異なり、話したい気持ちはありますがこ

とを経験したからでしょうか。

必要以上に怖そうに言うのと逆効果。情報が足りなくても困りますが、サービス過剰にならないように気にしない程度に伝えます。二人の信頼が最も大切だと思ひました。

## ● 聞くことと話すこと

施設でたくさんさんの時間、お年寄りと触れ合っています。聞くことは、忍耐を要します。始めは、聞くだけでいいんですよ。相手から学ぶという姿勢を持つてください。ただし、報告書を作るからといって目の前でメモすると失礼になりますし、調査されていると思われる場合もあります。健全な状況で考えることは難しい場合もあります。ことばに矛盾があれば、その中から把握してください。職員の関心を得るため話を作る「作話」のこともありますから感わされないようにしてください。

話すときは、目線を考えなければいけません。目を見るとそらす人がいます。鼻を見たりのものを見たりして、ゆっくり目線を動かすようにしてください。初めて会ったときの目線が大切です。そらされたときには時間がかかると思ってください。

慣れないと、混乱してしまうこともあります。訪問する前に、大きっぱな状況を頭に入れておくといひです。そして、相手に自分を知ってもらおうこと。ていねいなことばを使い、明るい声で話すことが大切です。それからカタカナことばは、わかってもらえない場合があ

## 盲人ガイドヘルパーのポイント

- ドアを通過するときは、2人分の幅があることを忘れないようにします。
- ドアの通過は、ガイドが開け、障害者が閉めます。ちよつがい側に障害者が立ちます。
- エレベーターでは、それぞれが中で内回りして向きを変えます。
- 金銭がかかわることは、障害者に直接やってもらいます。
- 車に対して存在をアピールするようにしてください。
- ヘルパーが離れるときは、障害者につかまるものがある所にいてもらうようにしてください。



サンシャイン社会福祉専門学校講師  
ふるほしまさき 古橋正模さん  
人間的な価値観を持って接することが大切です。それぞれの人が、地域や社会を支えてきたのです。



川越市社会福祉協議会  
はしのてるえ 次長 星野輝江さん  
皆さんの問題意識の高さに感じています。お互いの信頼関係を大切にして頑張ってください。



特別養護老人ホーム真寿園  
まちだきよこ 施設長 町田清子さん  
私も毎日自分のこととして勉強しています。最高の仕事ですから頑張ってください。



川越市高齢福祉課  
みやざきみのる 課長 宮崎稔  
人がどうやってかかわっていくかが重要です。いろいろなところで学んだことを生かしてください。

りますから注意してください。  
●高齢者にもやってみよう

高齢者は、できれば世間の世話になりたくないと思死にたて自立しようとしていますから、援助を受けることに無念さや、敗北感を味わうことも考えられます。そのため、高齢者のできることはやってみようように考える人になってください。活動は、残存機能を見つけて出すもの。残存機能を使い楽しく生きていきたいと思います。

●頑張ってください  
技術を高めるには、相手から学ぶこと、仕

### 対人援助技術2 外の話、聞かせてください

新井紀子さん・時子さんの話を紹介します。  
●自分の力で来ました

車いすの種類ですが、よくご存じの手動車いすと、私たちが使っている電動車いすがあります。小さな力で大きな力を得られる機械は、ありがたいものです。手の力がないので、ワープロなんかとても助かっています。車いすをもらったことで行動範囲が広がりました。何よりも自分の意思で動くことの喜びは、自由をあたりますのこととして得られている方にはわからないかもしれません。今日は、雨が降りそうだったので心配でした。電動車いすなら自分で来られるけれど、手動車いすだと介助が必要だからです。電動車いすがあれば、バッテリーの関係で六時間以内の場所ですが、自分の力で好きなところに行けます。事故を起こすと障害者の外出を危険視されてしまい、社会参加には逆効果なので十分気をつけています。

●障害者の努力も必要です  
外出するとやはり段差が気になります。身

事から学ぶことがあります。教科書などに書いてあるものは限定されたものですから、日々、変化する人間から学ばなければなりません。対人援助技術は、最も人間的で、対処する人の全人格が問われる仕事です。

在宅で介護できない場合は、健全な生活が営めるように施設・制度を活用し、人間が人間にサービスを提供することによって人間らしく生きることができれば、こんなすばらしいことはありません。サービスしながらニーズの確認、時にはグループで考え、目標・目

障害者兼用エレベーターなど使えないものがあります。私たちは、筋いしゆく症という病気のため、手が上がらないんです。上半身が自由ならスイッチを押すことは簡単ですが、そういう方ばかりではないことも知ってください。でも「国際障害者年」以来、ずいぶん見方が変わってきたようです。段差をなくしてくれる場所が増え、行動範囲が広がりました。出かけるのと私たちに声をかけてくれる人がたくさんいてありがたいと思います。私たちは、暗い障害者と思われぬように、何気なく声をかけてもらえるように努めています。おしやれるものひとつのポイントです。完全参加と平等のためには障害者の側からも努力が必要なのだと思います。

#### ●子どもたちが大きくなったとき

親子連れで、お母さんが、子どもの目をそらすとすることがあります。視線をそらすとすると感覚がわかるんですね。むしろ小学生は、学校で教育を受けているから親しいものです。子どもは私たちとの距離を縮めて

的を相手、家族、自分たちヘルパーが共有したかどうかを考え、社会的責任を持って地域に出ていくことが必要です。

福祉は弱者だけが受けるものではなく、だれもが平等に受けられるものでなければなりません。身体をばって仕事をしてききましたが、いい仕事をしている多くの人から学びました。最高の仕事ですから、皆さんにもぜひ頑張ってもらいたいと思います。

これは、皆さん自身へのチャレンジです。

#### ●出かける喜び

外国に行くと感じることがあります。宗教的なこともあると思うけれど障害者や老人に対する愛が大きいと感じます。相手から向かって来てあいさつしてくれるんです。障害者であることを忘れられる時間があります。

それは逆に周囲が障害者を悲しいものにしてしまうこともあります。外に出られず家の中にいる障害者が多いことも知ってください。その人たちが皆さんの協力で社会に出て強い人間になれば、一般的な生活ができると思っています。私たちは、苦しいことや悲しいことを乗り越えてきました。家の中にいる障害者もヘルパーさんの協力で外に出ることの喜びを感じとってほしいと思います。

### 養成研修の経過とホームヘルパー

今回の養成研修には 103人の申し込みがありました。定員が40人のため、63人の方に次の機会を待っていただくことになりました。すべての研修を受講した方に授与される修了証書は、研修参加者36人全員がホームヘルパー3級の資格を取得することができました。忙しいところ参加された皆さんの努力が光ります。

修了された36人のうち、ヘルパーの登録をされた方は30人。すでに資格を有している5人(介護福祉士1人・2級ヘルパー4人)と合わせ、今年には35人の方が新たに川越市のホームヘルパーになりました。

研修で3級を取得された皆さんは、8月末から家事援助の活動を行っています。



障害者と健常者の隔たりをなくすのは、私たちひとりひとりの心 (写真は本文とは関係ありません)



コツがわかれば、なんとかなるものです



段差を越えるときは、ティップングレハーに足をかけて前輪を持ち上げます

●周囲の人に支えられて

障害者は、結婚してもやっていけないと思... 障害があっても結婚している人もいます。幸... せを手に入れるかどうかを左右するのは、愛... の力と周囲の人たちの援助だと思います。寝... たきりのままでいるのも周囲の人の影響によ... るところが多いのではないかと思います。

周囲に人をつくるには、もちろん障害者の... 努力も必要です。それには、相手の気持ちを... 読みとるまでがたいへんだと思います。構え... ないで、話相手になることが大切だと思いま

施設実習 ●自分の意思で決定・行動

施設研修では入浴介助、食事介助、部屋の... 清掃とベッドメーカーキングなどが主な課題です... 研修は、特別養護老人ホームの真寿園、川越... キングスガーデン、陽光園で行なわれ、ここ... では、川越キングスガーデンを訪ねました。

●自分の意思で生活

ホームの入所状況は現在、空き待ち状態... 「来ることになった場合は、来てよかったと... 思われる施設、自然に吸い込まれるような施... 設にしなければいけない」と久場健三施設長... が言うとおりの、自然の光を取り入れた館内は... 明るく、入所ときは、抵抗感を柔らげるた... めに歓迎式を行っているとのこと。施設では... 一人が、かぜをひくと皆がかぜをひくこと... もなりかねないので注意が必要です。暖房は、床... 暖房を用いて個人差に対応しています。高齡... 者を管理する気持ちにならないように、また... 家庭の雰囲気にするため、職員の制服はあり... ません。自分の意思で決定し、自分の意思で... 行動するということは、すべてに共通。自由... に歩ける空間が広がっています。

ホームヘルパー養成研修●レポート

す。障害者は自分で好んでなったわけではあ... りません。さみしい気持ちを心にしまってい... ます。心の問題が大切なんです。

●外の話、聞かせてください

私たちはかわいそうな人ではありません... 不自由でも、不幸ではありません。目的に向... かってやるべきことをやっています。できる... ことはさせてもらい、その補助をするように... 考えてほしいと思います。「何をしているん... ですか？ 大変ですね」という形でヘルパー... さんが力を貸してくれたら、幸せです。時に... は「あなたはこうだけれども私はこうだと

●ベッドメーカーキング

課題の一つであるベッドメーカーキング。シ... ーツは、二人で敷くのですが、しわにならな... いように敷くには、ちよとしたコツと力の配... 分が大切。冷えるのでベッドパットや毛布を... 使っている方もいます。厚いものが敷いてあ... るとメーカーキングは難しく、角の部分を三角折... りするのですが、なかなかうまくいかないよ... うです。

●昔話

私たちが、旅行先などでホテルや旅館のさ... っぱりしたシーツに触れたときの心地よさを... 毎日感じられたらすばらしいと思いました。

●食べられることが尊い

もありました。その場面だけを見ると介助を... 受ける高齢者を気の毒に思うかもしれませんが... しかし、介助の状況や食べている高齢者の姿... を考えると、決して食事の形だけを取り上げ... て判断できない複雑な思いを感じました。

高齢福祉の将来 ●福祉が動いています

●ヘルパーが必要です

川越市の高齢化率は低いのですが、あくま... で比率で少ないだけ。全体としては急速な高... 齢化が進んでいます。初日の研修に「ヘルパ... ーをやってみたい人は何人いますか」という... 問いに手をあげた方は四人。研修の初日です... から無理のないことかもしれません。ヘル... パーが少ないと、行く時間や場所が限... られてしまいます。しかし、高齢者は、年... とに増えていきますから、今後は、より多く... のヘルパーが必要になるのです。

川越市では、近い将来、家事援助と身体介... 護を合わせて百八十三人のヘルパーを確保し... なければならぬ状態にあります。友愛サー... ビスについても、いっそうの充実を図り、よ... り有効な組織として機能することが期待され... ます。ホームヘルプサービスとボランティア... 活動が互いに補い合って高齢者・障害者の在... 宅での生活を支えていくことが必要です。

●在宅介護を支える

今日、福祉は見直しの時期にきています... それは、高齢者を施設に預けることがすべて... というのではなく、どれだけ在宅・家庭での

●福祉が動いています

生活を可能にできるかということです。そし... て、在宅で困ったときに、支援するためのも... のが施設という考え方に移行してきています... 高齢者対策というところでも施設などの... ハード面を重視してしまいがちです。しかし... これからの高齢者対策には、人がどうやって... かかわっていくかというソフト面を考えるこ... とが重要になります。

特別養護老人ホームを一つ造るのにおよそ... 十億円が必要です。現在、施設の数も少なく... 入所定員もいっばいの状況を考えると、施設... のあり方を考えなければなりません。

国の指導ではデイサービスセンターは中学... 校区に一つとなっていて、川越市では、二十... 二か所の設置が計画されています。これは、... 介護を必要とする方から虚弱な方までサービ... スの拡充を考えたものとして小学校、保育園... 集会所などを利用した施設を含めたものです... こうしてできるデイサービスセンターは、地... 域福祉への貢献が期待されています。

将来は、ショートステイ、デイサービス、... 在宅介護支援センターを備えた特別養護老人... ホームや老人保健施設が在宅福祉サービスの... 拠点になると考えられています。しかし、そ... れには福祉施設への偏った見方を改めなけれ... ばなりません。こうした施設の多くは、まち... の中心からはずれた、交通の不便なところに

思います」なんて、けんかをしてもいいと思... います。

先日、市立図書館では絵の展示会をして... 勉強しました。一人の人間として接してもら... えたら、障害者も成長できると思います。情... 報を外から持って来てもらうことも大切で... 外の空気ってうれしいのです。私たちは、そ... れが欲しくて出かけてしましますが、まだ出... かけられない人の所へはヘルパーさんに届... てもらえたらいいと思います。外の話をし... てください。

●食事介助

昼食の時間になりました。養成研修に参加... している皆さんは、配せんの手伝い。ゼン... はそれぞれ名札が付いているのですが、ど... の人がだれかわからないので配るのも一苦労... 対人の仕事は、名前を覚えることから始まる... と実感しました。

自分の力で食事をしている高齢者と介助を... 受けながら食事する表情の少ない高齢者や... 眠っているような高齢者は対照的。初めて見... る方には、シヨッキングなものだと思います... 皆さん一生懸命に介助。反応の少ない高齢者

●福祉の将来

「福祉」というこれまでのイメージにとら... われずに、必要なサービスを提供し、金銭を... 支払ってサービスを受ける。福祉行政だけで... はできない問題やサービス供給の多元化に... 応じるには、税金だけでやっていくのではなく... シルバー産業といわれる民間業者の参加など... 関係相互の協力による解決が必要になってい... ます。もちろん医療も必要になります。

来年少しヘルパーを養成・発掘し、確保... と育成を図るほか、その他のサービスについ... ても担い手の養成・確保に努めます。また、... 総合サービスセンターの設置、在宅介護支援... センターの機能を備えた地域サービスセンタ... ーを市内の六か所に設けるなど身近な場に相... 談とサービスの調整機能を備えた施設の整備... を計画。自立と自助を高めるまちづくりを進... めていきます。

「福祉」は特別な人のもの」という認識が... あるかもしれませんが、これまで考えられて... きた概念は変わってきているのです。

参加者の声

研修に参加した三十六人は、全員が... 養成研修を修了。最終日に感想が述べ... られました。

- 家族のあり方を考えさせられました
見なければいけないものを知らずに
過ぎてきた気がします
施設に初めて
行って驚きました
これからヘル
パーとしてやっていきたい
実際に知
識を得たかったことがなえられまし
た
おばあちゃんを家で面倒みたいと
思いました
おむつ、入浴、食事、介
助すべてがシヨックだった
デイサー
ビスが大切なことがよくわかった
川
越市で二級の研修をやってほしい
習
ったことを実習する機会がほしい
訓
練やリハビリがあるので、施設の方が
いい
何年後かにやって来る問題をあ
まりに漠然と考えていた
生き方を見
直す機会を得ました
シヨックを受け
てみいから、おむつ、入浴の実習を
やってみたかった
施設と心はあって
も人手が足りないとい何にもなりません
おばあちゃんに「ありがとね」って
何回も言われ涙が出るほどうれしかっ
た
「不自由だけれども不幸ではない」
ということばに涙が出る思いがして、
家で何度も考えました
手に触れた排
せつ物の軟らかさ、温かさがありがた
い気がしました
制度をもっと知らせ
たいと思います
寂しく暮らす老人、
福祉からこぼれる老人がなくなるこ
とを願います
健康に勝るものはないと
思いました
いいものを次世代へリレ
ししなければならぬと思います

アンケート集計(サンプル数115)

Table with 2 columns: Question/Topic and Answer Count. Includes categories like '研修を受けて高齢問題に対する考え方が変化した', '研修をどのように生かしたい', '在宅と施設にしてみたい', 'ヘルパーの役割', '高齢者にとって何が一番大切', '健康', '家族', '友人', '財産', 'その他'.



姉妹都市ドイツ連邦共和国ヘッセン州

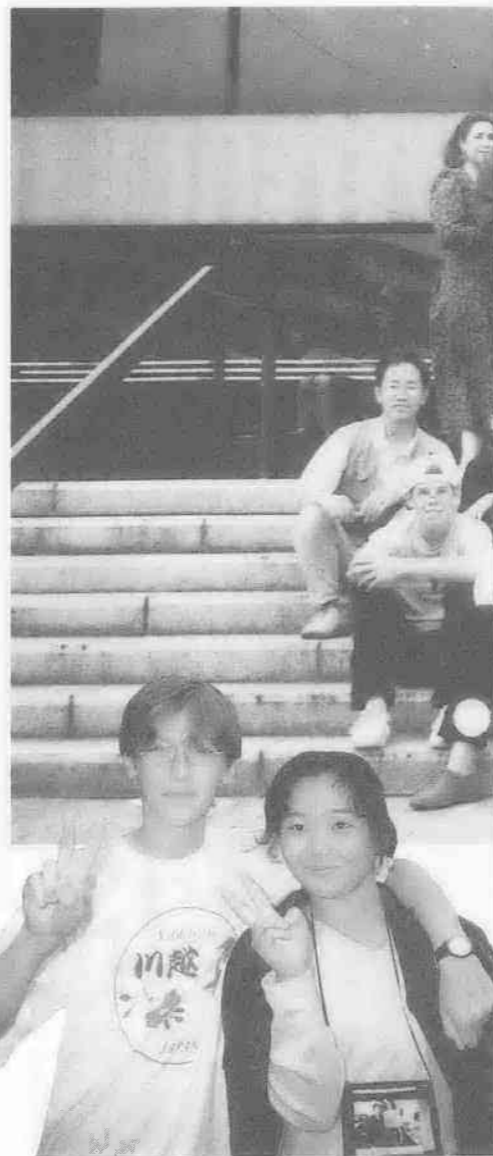
# オッフエンバッハ市を訪ねて

## 第1部



### Besuch in Offenbach

オッフエンバッハ市は、ドイツ連邦共和国ヘッセン州の中央部に位置し、フランクフルトの東、車で30分ほどのところにあります。マイン河の河畔に栄えた町で、歴史は古く、1977年には町誕生1000年を祝っています。面積は、45.24km<sup>2</sup>。うち41%が宅地、34%が森林、16%が農地となっています。外国との交流が盛んで、人口約11万人のうち20%が外国人といわれています。また、川越市以外にも10か国の都市と姉妹都市になっています。



各国の青少年の前で、事前研修のときに作った「日本人の一生」「中学生の一日」「川越紹介」を発表。教育制度や神道についての質問に対し、答えに窮する場面もありましたが、すばらしい発表だったと、褒められました。青少年交流の一環として、ワークショップ(研究会)を開催。その一つ、ビデオ班では、交流の様子を取材しました。撮影から編集まで自分たちで実施。ユースホテルで発表もしました。



今回の訪問では、ホームステイとユースホテルに4泊ずつしました。ユースホテルでは、オッフエンバッハ市の姉妹都市スペインとルクセンブルクから来た青少年たちと合流。4か国の交流が行われました。写真はユースホテルの中庭での記念撮影。オッフエンバッハ市に残る古城の一つ、イゼンブルク城前で。



### 海外姉妹都市を訪問

昭和五十八年八月二十四日に、川越市にとつて初めての海外姉妹都市になったドイツのオッフエンバッハ市。これまでにも、両市の間ではサッカー交流、市民交流団の派遣と受け入れなど、多くの交流が行われてきました。今回紹介するのは、八月十九日(金)～二十八日(日)に、川越市姉妹都市交流委員会が行った第一回中学生訪問団の交流の様子です。また、これに先立つ八月三日(水)～十二日(金)に、オッフエ

ンバッハ市を訪ねた舟橋功一市長一行の交流についても紹介します。中学生交流団の海外姉妹都市訪問は、アメリカのセーレム市へ昨年までに四回行われていますが、オッフエンバッハ市へは今回が初めて。出発前は不安げな表情だった生徒たちも、現地での交流が進むにつれ、出会いの喜びと意思が通じる楽しさに、表情が明るくなつていきました。八泊十日の短い旅でしたが、今回の訪問は生徒ひとりひとりにとつて忘れられない経験になったようです。

### 新しい時代を実感



第1回オッフエンバッハ市訪問中学生交流団  
おくむらじゆんいち  
奥村 順一 初雁中学校校長

今回派遣された中学生は、市立中学校22校のうち、昨年セーレム市への派遣生を出した11校以外の11校から選出された生徒たちです。ほかに私と、野田中学校の岸啓子先生、市の担当者の3人で引率しました。生徒たちは、各校の代表、さらに川越市の代表としての自負と、中学生らしい好奇心を持って積極的に参加してくれました。出発前、6回の事前研修で英語とドイツ語の学習をしたのですが、やはりことばの問題は大きかったようです。「これからは、もっと外国語を勉強したい」と、どの生徒も言っていました。ユースホテルでは、日本、ドイツ、スペイン、ルクセンブルクの4か国の青少年が寝起きを共にして交流しました。交流の一環として、ワークショップや市内のオリエンテーリングなどが用意され、川越市の生徒たちもいっしょに活動しました。4か国の青少年が、数日の間に、以前から知り合っていた友達のように親しくしている様子を何度も目にしました。国際化の推進が言われて久しいですが、今回の中学生の交流を見て、私も新しい時代が来ているのを実感しました。これからも、この交流が続いてほしいと思います。



お世話になった、オフエンバッハ市の担当者とピースマーク。中央は引率の岸先生。



音楽のワークショップでは、4か国編成のロックバンドが誕生。ビートルズナンバーのほか、国を越えた愛を歌うオリジナル曲も発表されました。



ユースホステル最後の日、川越の生徒が合唱と秩父音頭の踊りを披露。その後、着ていたはんでんをプレゼントし、記念写真を撮り合いながら、4か国の交流の終わりを惜しんでいました。

参加した中学生に、今回の交流の印象を聞きました。短いことばでは言い表せない感動が、皆さんの心にあふれているようでした。

参加者の声

川上亮さん(川越第一中三年)

ユースホステルでは、あまりことばが通じなかったけれど、身振り手振りでスペイン人、ルクセンブルク人ともすぐ友達になることができました。別れる日は、日本に帰りたくないと思えました。

田中沙織さん(富士見中三年)

ドイツの町はゴミがなく、とてもきれいで、自分が汚していないか心配するほどでした。また、人々の生活上のゆとりと、人と接するときの優しさに、人間的な豊かさを感じました。

船崎久美さん(城南中三年)

行く前は不安だらけだったんですが、実際の十日間は夢のように過ぎました。温かく迎えてくれたホストファミリーに感謝しています。ことばがわからなくても気持ちが届くことを学びました。

榎本和明さん(東中三年)

初めて聞くパイプオルガンの音に感動しました。静かな教会の中で響くその音色は、今でも耳の奥に残っています。ユースホステルでいろいろな国の人と、夜遅くまで話し合ったことも忘れられません。

大原三奈さん(高階中三年)

不安と緊張を抱いた訪問でしたが、「文化や習慣の違いを見たい」という目標は果たされたような気がします。ワークショップで、大きなボードに絵や文字をスプレーで描いたのも良い思い出になりました。



土田幸江さん(寺尾中三年)

バスから降りるおばあさんのために、荷物を運んであげるドイツ人の優しき、お店に入るときにもあいさつを交わす和やかさを見て、私はドイツが好きになりました。またぜひ行きたいと思います。



杉沼尚美さん(福原中三年)

ユースホステルでは、ワークショップのほか、各国の料理の夕べや観光もあり、楽しく交流できました。ドイツの人が十代半ばで人生の目標を決め勉強しているのを見て、日本との違いを感じました。



若林正樹さん(大東西中三年)

ドイツの料理にはなじみませんでした。それは感動の連続でした。特に、ワークショップのロックバンドでいろいろな国の人と演奏できたことは、一生の思い出だと思います。



小林慎之介さん(霞ヶ関東中三年)

ワークショップでは演劇に入り、立ち居振る舞いやコミュニケーション方法を教えてもらいました。スペイン人とオフエンバッハ市内で道に迷ってしまったのですが、それもいい思い出です。



野呂裕樹さん(川越西中三年)

ドイツでは、あいまいなままにせず自分の意思をはっきり伝える大切さを学んだような気がします。また、ドアを開けるときの音、レディーファーストを恥ずかしいと思わずにできたのがうれしかったです。



佐々木由美さん(鯨井中三年)

道が広いというのがドイツの第一印象です。車道と歩道が別れていて駐車スペースもありました。また、レンガ造りの家が並び、窓からはプランターに植えられたきれいな花が見え、いいなと思いました。



オッフエンバッハ市を訪ねて

第2部

要請にこたえて表敬訪問

昭和五十八年に姉妹都市提携以来十年が経過し、交流を深めてきた両市。平成五年二月に舟橋功一市長が就任して以後、オッフエンバッハ市長から再三にわたる訪問要請がありました。これを受け、今年八月三日(水)から六日(土)まで舟橋市長は、自費で参加した浩子夫人と共にオッフエンバッハ市を表敬訪問しました。

ドイツは、数十年ぶりの記録的な猛暑。ほとんど冷房装置のないドイツですが、市民はこの暑さをまるで楽しんでいました。

オッフエンバッハ市役所でのクラウス・ポテンツォン副市長夫妻をはじめマンフレッド・

ウィルズインク議長夫妻ほかが出席しての歓迎式。副市長が、「日本語のカワは川越市の「川」であり「皮」も同音です。皮の街オッフエンバッハ市と川越市の姉妹都市関係を強化したい」とあいさつ。舟橋市長は、ドイツ語で「両市間の友好、親善を

深めていきたい」と述べ、拍手を浴びました。歓迎式の様子は翌日の「オッフエンバッハ・ポスト紙」で報道されました。

副市長の案内で地下鉄工事現場やビュージング宮殿、イゼンブルク城、マイン川堤防、職業訓練学校、市民ホールなどを視察。

「クリングスボール博物館」は、カリグラフィ(文字芸術)の博物館。日本の書道もカリグラフィの一つといわれています。



①緑が多くごみ一つない市内②文豪ゲーテの生家・ゲーテハウスでのポテンツォン副市長と舟橋市長③クリングスボール博物館で日本舞踏を披露する浩子夫人④表敬訪問が報道されたオッフエンバッハ・ポスト紙

最後の夕食会で、副市長が、「今回の訪問で両市の姉妹都市関係は新しい時代に入った」とあいさつ。舟橋市長は「百聞は一見にしかず」のことばを引用して「オッフエンバッハ市の皆さんと知り合えた。これからはいつそう交流を深めていきたい」とこたえ、固い握手を交わしました。

市長への提案から

NO.9



川越市長 舟橋功一

電線地中化は積極的に進めます

市政懇談会でいただいたご意見を紹介します。(提案要旨)

市街地北部の一番街と時の鐘通りの電線地中化がされ、観光客の誘致にも役に立っています。今後の地中化の計画をお知らせください。

(お答え)

道路は、交通のほか上下水道やガス、電気など、都市生活に欠くことのできない重要な役割を果たしています。しかし、道路に建つ電柱は道幅を狭め、歩行者や自転車などの通行の妨げとなっています。また、上空に張り巡らされた電線類は都市の美観を損ない、災害時の救助活動に支障を来すこともあります。

欧米では、古くから道路内や連続する町並みの中に電線類を隠しており、日本でも近年、ようやく電線類の地中化が推進されるようになってきています。

地中化の条件は、都市の中心部で電気、電話の需要密度が高い地域が原則とされています。また、安全で快適な通行空間の確保、都市災害の防止、都市景観の向上などの観点から、大規模な商業地域、主要官公庁が集中している地域、駅周辺などのまちの玄関口となる地域、歴史的風土保存地域などが該当します。

地中化には、架空線と比べて10~20倍、100mあたりおよそ1億円と多大な費用がかかります。また、電気、電話、ガス会社などの協力がなければできない事業ですから、今後も密接な連携のもとに地中化を推進してまいります。

具体的には、平成7年度から3か年計画で川越駅東口のサンロード商店街と新富町商店街の740mを、その後に銀座通り商店街を予定しています。

安全で美しい道路空間を実現するため、市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

10月22日(土)・23日(日)

午前9時～午後4時

### 川越ハンテアン

(問屋町・旧埼玉中央卸商団地)



#### にぎわいの広場

各種工業製品・ロケット・リサイクル商品・環境パネルなどの展示、野菜・魚・肉・もち・豚汁・軽食等の即売、小浜市・棚倉町の物産販売ほか

#### イベントの広場

和太鼓演奏、手品、鼓笛隊、ドリル、バトン、民謡流し、歌謡ショー、ビンゴゲーム大会、大型建設機械の展示ほか

#### フリーマーケット&リサイクル

フリーマーケット(衣類・雑貨・手作り品ほか)、リサイクル製品の展示と販売(抽せん)、生ごみ再資源化エコロジーマシンの展示

#### その他

ミニSL、スタンプラリー、ヘリコプター遊覧、自動車の展示と販売など

#### 無料送迎バス

■本川越駅発車時間(本川越駅→川越駅西口→会場)

8:30/8:40/8:50/9:40/9:50/10:00/10:50/11:00/11:20/12:50/13:10/14:00/14:10/14:30

※川越駅西口発車時間は、本川越駅発車時間5分後です。

■さんぽく会場発車時間(会場→川越駅西口→本川越駅)

10:40/11:30/13:20/13:30/13:50/14:40/14:50/15:10/15:50/16:10/16:20

今年の夏は、猛暑と極端な水不足のため、市では七月二十二日(金)に「川越市渇水対策本部」を設置し、市民の皆さんに節水をお願いしてきました。

### 川越市渇水対策本部を閉鎖

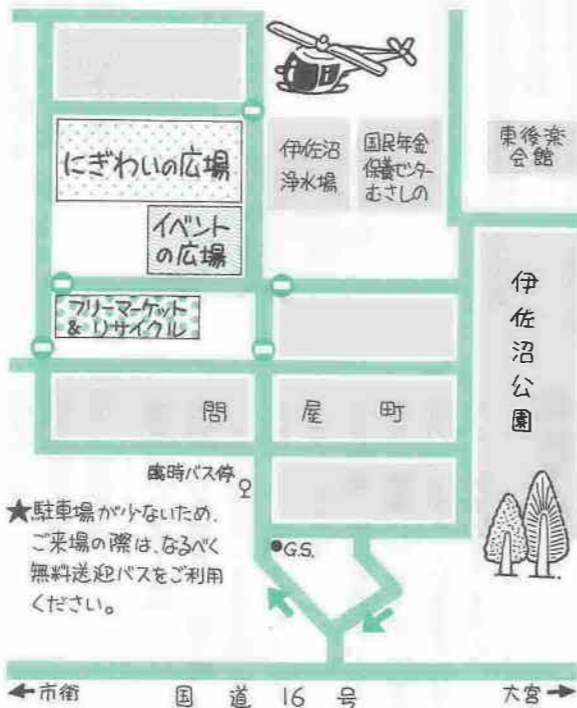
協力ありがとうございました

同本部を閉鎖しました。

渇水期間中の皆さんのご協力に感謝します。今後とも節水のご協力をお願いします。

問い合わせ：水道管理課 ☎ 2313061

川越産業博覧会は、市内の産業を一堂に集めて、多くの方々に地域産業への理解と認識を高めていただくものとして、今年度のテーマは「エコロジカルなさんぽく」。会場の川越ハンテアンでは展示、PR、実演、販売、イベントが繰り広げられます。異業種間の交流、情報交換、人と人とのふれあいなどをお楽しみください。



★駐車場が狭いため、ご来場の際は、なるべく無料送迎バスをご利用ください。

### エコロジカルなさんぽく

今年度のテーマは「エコロジカルなさんぽく」。会場の川越ハンテアンでは展示、PR、実演、販売、イベントが繰り広げられます。異業種間の交流、情報交換、人と人とのふれあいなどをお楽しみください。

### 国民年金の集合収納と年金相談

忙しさに紛れ、国民年金を納め忘れていらっしゃる方はいませんか。国民年金課では、平成四年九月から現在までに国民年金の納め忘れがある方を対象に、集合収納を実施します。あわせて年金相談も行いますので、都合の良い日にご来場ください。

月日	会場
10月19日(水)	南古谷公民館
10月20日(木)	高階南公民館
10月21日(金)	大東公民館
10月24日(月)	霞ヶ関公民館
10月25日(火)	山田公民館

■時間…午前10時～午後3時

問い合わせ：国民年金課年金推進係 ☎ 内線2461

### サービス業基本調査にご協力を

総務庁では、十一月一日現在でサービス業基本調査を実施します。近年、事業経営の多角化、ソフト化、家計消費におけるサービス支出の増大などにより、サービス産業の重要性がますます高まっています。

この調査は統計法に基づき、サービス業事業所の従業者数、事業収入金額、事業の種類などの項目について記入していただきます。

十月下旬から県知事任命の調査員が調査票の記入のお願いに事業所に伺いますので、ご協力をお願いします。

問い合わせ：情報統計課統計係 ☎ 内線2275

迷惑駐車のために…… 救急車が通れなかった—動かなかったかもしれない命。消火栓のふたが開けられなかった—被害を最小限に食い止められたかもしれない火災。子どもは走ってくる車に気づかないで飛び出した—重傷手を道を通ろうとする子どもたちの姿が見えなかった。失わずに済んだかもしれない大切なもの。あの車がなかったら……知らないところで加害者に寄りたくありません。

路上駐車は、事故の誘因や救急・消防活動の妨げになります。自動車の駐車場は、継続的に確保しましょう。

# 入賞おめでとう

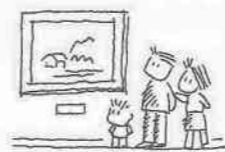
たくさんのご応募ありがとうございました。次の方々が入賞しました。(敬称略)

## 選挙啓発ポスター

- 応募作品数 二百八十点
- 特選 十一点
  - 矢島未夢 川越小四年 渋谷隆信
  - 仙波小二年 本多理美 仙波小五年 塚原あい 仙波小六年 新井佑輔 月越小三年 松岡有紀 川越第一中一年 内藤真実 野田中三年 鉄谷直美 野田中三年 日下部有紀 野田中三年 加藤春奈 野田中三年
- 金賞 十一点
  - 内田旭 川越第一小五年 井上令衣 中央小三年 石村宗龍 川越小四年 岡田さとみ 大塚小四年 千代田七美 霞ヶ関北小六年 秋家ひかる 富士見中三年 柴田寛之 野田中三年 渡辺裕美 野田中二年 喜多留美 大東西中二年 古川千佳子 大東西中二年
- 銀賞 十六点
  - 銅賞 二十点

# ポスター&グラフィックコンクール

- 田久実 野田中三年
- 金賞 十九点
  - 松村直哉 泉小一年 吉田雄太 月越小一年 小俣貴広 大東小一年 間仁田吉仙 新宿小二年 野沢碧 上戸小三年 飯田将茂 山田小三年 齋藤晴哉 新宿小四年 橋本めぐみ 泉小四年 野村亮子 川越小五年 長島尚子 新宿小五年 岸孝 月越小五年 菰田絢子 上戸小五年 田幡菜穂子 同 倉林麻衣 川越第一小六年 井上未生 中央小六年 塚原あい 仙波小六年 亀龍静香 泉小六年 佐藤歩 野田中一年 淡路直哉 大東中三年
- 銀賞 二十一点
  - 銅賞 四十八点



## 清掃ポスター

- 応募作品数 三千二百三十五点
- 特選 二点
  - 安部尚美 仙波小六年 島村三香 子 大東西中二年
- 金賞 七点
  - 瀧島真琴 月越小一年 小玉利香

## 統計グラフ

応募作品数 四百四十四点

- 一等 二点
  - 島野敏 粕谷美咲 木下奈苗 加藤

## 清掃ポスター展

日時：10月22日(土)・23日(日)、午前10時30分～午後5時

会場：コミュニティルームA (アトレ6階)

※金、銀、銅賞を展示します。なお、特選については、関東地方のコンテストに出品されますので、展示はありません。

# 第13回川越市民コンサート

十二月一日は、「市民の日」。県内で初めて市制を施行した大正十一年十二月一日にちなんで、市制施行六十周年となった昭和五十七年に設けられました。



読売日本交響楽団

これを記念して始まった市民コンサートは回を重ね、今年第十三回目を迎えました。おなじみの読売日本交響楽団のすばらしい管弦楽をお聴きいただきます。

タクトを振るのは、指揮界のホープとして注目を集めている沼尻竜典さん(新星日本交響楽団正指揮者)、ピアノにはベルリンで行われたメンデルスゾーンコンクール(一九八七年)の第一位をはじめ数々の賞に輝いている仲道郁代さんを迎え、魅力あふれるコンサートを皆さんをお待ちしています。

師走のひとときを、華麗なクラシック音楽でお楽しみください。

日時：十二月四日(日)、午後一時三十分開場、午後二時開演

会場：川越市市民会館

曲目：モーツァルト・歌劇「フィガロの結婚」序曲・グリーグ・ピアノ協奏曲イ短調作品十六・チャイコフスキー・交響曲第五番 序曲・短調作品十六

入場料(全席指定)：A席 三千円 B席 二千円

入場券発売：十月二十日(日)開始

## 12月4日(日)に市民会館で



沼尻竜典さん



仲道郁代さん

入場券発売所：黒田書店川越店 25-3138 三松堂書店 26-7037 丸広百貨店川越店 プレイガイド 24-1111 栗原楽器店 22-6434 吉田謙受堂本川越駅前店 25-1380 みずむら書房 43-3847 黒田書店霞ヶ関駅前店 31-5179 吉田謙受堂西バイパス店 46-7380 市民文化課

問い合わせ：市民文化課市民文化係 内線 2413

# 消費生活レポート 14

## 消費者の心に届く表現

セールスや広告には、魅力的なことを用いて長所を強調し、商品の販売に努めるものがあります。大田区発行の「生活情報」という冊子にどのような表現が消費者の心をつかんだのか、夕イブ別に分けられていたので紹介します。

### ポケベル型

・よい情報です。来てください  
・楽しい会に参加しない?  
・トレンディードラマ型

### あなたも高級車に乗れる

・あなたも高級車に乗れる  
・素敵なお会いが訪れる  
・カップラーメン型

### 短時間でこんなにもわかる

・短時間でこんなにもわかる  
・電話で勧誘するだけで一万円  
・官庁推薦型

### 〇×省の認可があります

・〇×省の認可があります  
・今なら国家資格が簡単取得  
・不景気ぶつとばせ型

### 名簿から選んで電話している

・名簿から選んで電話している  
・値上がり確実な先物がある  
・ラストチャンス型

### 値引きは今日だけ

・値引きは今日だけ  
・今日が締め切り、申し込んでいないのはあなただけ

紙面の都合で一部省略しましたが、いかがですか?

ポケベル型は、アポイントメントセールスと呼ばれるもの。初めてでも「当社から連絡が届きましたでしょうか」とすでに進行状態にあるように電話で話しかけたりすることもあります。

トレンディードラマのように「いい車に乗りたい」「異性といっしょに過ごしたい」などの気持ちを利用されると、心まで傷つけられてしまいがちです。

「簡単に高収入を得られる」、「特典付きの会員権がある」などの話は、いかにも怪しいものが「皆がやっている」という安心感、「あなただけ特別に選ばれた」、「チャンスに当たった」という偶然性などの表現です。はっきり言って、うまい話は「ない」と考えたほうが無難です。

社会には、情報があんらんしています。それらをきちんと判断することがトラブルの回避につながります。

生活情報センター ☎26-7066 業務時間 午前10時30分～午後7時(定休日)火曜日



## 薬の使い方

### おやすみは正しく飲めば正しく効きます

●くすりの飲み方、使い方って大切な?  
「くすり」は、一人一人の身体の症状と、薬の作用を十分考え合わせて、正しく使うことが大切です。正しく使わなければ、回復を遅らせることになり、また使う必要のないときに使ったりすると、薬本来の役割を果たすことなく害にさえなることもあります。

病気になる苦しみを和らげ、健康な身体を回復し、保つために、正しく「くすり」を使いましょう。

- ①添付文書(能書き)などをよく読みましょう
- ②用法・用量を正しく守りましょう
- ③服用時間を守りましょう
- ④薬の併用は注意しましょう
- ⑤妊娠・授乳中の服用は避けましょう
- ⑥小児の薬は、用量、回数必ず守りましょう
- ⑦高齢者の薬の使用は特に注意しましょう

●医師・薬剤師など専門家に相談しましょう

薬局にはいろいろな種類の薬が並んでいます。同じ風邪の薬でも成分や剤形(カプセル・錠剤・液剤)など、さまざまな製品

があります。これら医薬品の表示をよく見て、自分に必要な薬を適切に選ぶことが大切です。でも、たくさん薬の中から自分に合ったものを選ぶのは大変です。薬を効果的に、また安全に使用するために、医師・薬剤師などの専門家に気軽に相談しましょう。

毎年、十月十七日～二十三日は「薬と健康の週間」です。市内の薬局店頭で相談ください。

「処方せん」の調剤は、「基準薬局」か「保険調剤」もしくは「処方せん受付」の表示のある薬局をご自由を選んでご利用ください。

高齢化に伴い、身辺の状況に変化が見られるようになりまし。このような時には、「かかりつけ医」や「かかりつけ薬局」もお役に立てると思います。

基準薬局：調剤などを安心して任せられる薬局のことです。日本薬剤師会が認定された薬局。保険調剤：保険が適用される保険薬局で調剤すること。

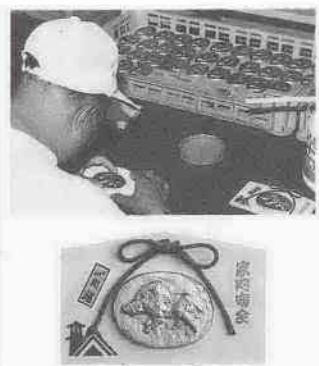
川越市薬剤師会・川越薬局・河村久雄先生から原稿をいただきました。

「川越モーニング・メッセージ」は、まち紹介の30秒スポットCM。毎週木曜日、午前8時30分ごろにNACK 5 (FM埼玉79.5MHz)で放送中。

地方行政に対する自治大臣への提言ができる「自治大臣への提案ファックス」(ふるさとファックス)は、03-3581-6987

# 一九九五年の干支の絵馬はいかがですか

市立まよしの授産学園では、昭和五十六年から毎年、干支の絵馬を製作しています。この絵馬は、



川越市出身の彫刻家日展評議員を務める橋本次郎さんの原型レリーフを基に、同園の園生たちが心を込めて作っているものです。平成七年の絵馬は、乙亥きのと

## ■干支の絵馬の取扱所

福祉の店	協田町一〇五アトレ一階
喜多院売店	小仙波町一〇一〇
つちかね	新富町一五一四
服部民俗資料館	幸町六一八
まよしの授産学園	宮下町一一九一三三

るにちなんだもの。ご希望の方は、左記の取扱所でお求めください。価格：五百八十円  
問い合わせ：まよしの授産学園 ☎ 25-2551-09

# 中小企業の退職金づくりは「中退金」で

中小企業退職金共済制度(中退金)は、退職金制度を持つことが困難な中小企業のためにつくられた国の制度。国の援助で、大企業と同じような退職金の支払いができるようにすることが目的です。制度の特色：掛け金の一部と制度

の運営費を国が負担▼掛け金は全額非課税▼福利厚生施設設置等の融資あり  
掛け金の種類：月四千円〜二万六千円の十五種類▼短時間労働者(パートタイマー等)は二千円、三千円でも加入可

加入手続き：金融機関等に備え付けの申込書に申込金(掛け金の1月分)を添えて金融機関に申し込み  
問い合わせ：中退金の退職金相談センター ☎ 03-3805-1805

# 国民健康保険の保険証が変わります

現在使用されている「黄色」または「サーモン色」の国民健康保険被保険者証(保険証)が使用できなくなるのは、十月三十一日(月)までです。十一月一日からは、新しい保険証を使用してください。

新保険証は、十月十九日(木)に発送します。色は「若竹色」(一般被保険者証)と「銀鼠色」(薄い灰色)。(退職被保険者証)です。届きましたら、色と内容を確認してください。記述内容等に誤りがありましたら、保険課へご連絡を。

健康保険に未加入の方は早急に加入届けを  
勤務先の健康保険に加入している方(加入できる方を含む)を除くすべての方が、国民健康保険に加入することになっていきます。届いた保険証を確認し、加入すべき方が未加入でしたら、早急に加入の届けをしてください。  
問い合わせ：保険課係 ☎ 内線2467

11月1日から

# 環境にやさしい暮らし方

環境保全課管理係 ☎ 内線2611

## あなたも騒音の発生源? 「生活騒音」

今月の環境クイズのテーマは「生活騒音」です。

**問題**  
地下鉄の車内、八十デシベル(dB)と同じくらいの音はどれでしょう。(音源から一メートル離れたときの音)  
a ピアノの大きな音  
b 布団をたたく音  
c 虫かごの鈴虫の声

市に寄せられる苦情や相談のうち、日常生活から発生する騒音の問題が年々増えています。

日常生活の中から発生する音は次のような大きさになっています。

- ピアノの大きな音 八十六dB
- 布団をたたく音 八十一dB
- 金づちの音 七十七dB
- 虫かごの鈴虫の声 六十八dB
- 洗濯機の音 六十五dB
- 風鈴の音 六十四dB



生活騒音は、各自のモラルや地域の話合いで解決すべき問題であるといわれています。地域でコミュニケーションを深め、他人の生活に配慮し、快適な生活を実現することが望まれます。  
**正解** b 布団をたたく音  
音は耳をふさがり限り侵入してきます。また、人は音を出さずに生活するわけにはいきません。

麻薬、覚せい剤を追放しよう! 麻薬、覚せい剤など恐ろしい薬物の乱用を絶対に許さない社会環境をつくりましょう。

# 「存じですか」代替地登録制度

住みよいまちづくりには欠かせない道路の拡幅や施設の建設などを円滑に進めるためには、事業用地が必要で、用地の取得には、所有者の理解と同時に、提供してくださる土地に対する補償が必要になります。

補償には、金銭の支払いや土地の代替えなどがあります。そこで、市は事業用地を提供される方が代替地を求めると、この要望に応じるための土地を必要としていきます。

つまり、代替地登録制度は、事業の実施により、所有している土地を手放すことになった方への補償として、提供する代替用の土地をあらかじめ登録し、確保しておくものです。  
公共事業協力者のために、土地を提供してもよいという方は、お知らせください。一定の条件が整った場合、代替地としての特例(千五百万円の特例控除)が受けられます。

登録できる土地：面積が二百平方メートル以上で、公道に接している土地  
問い合わせ：管財課管理係 ☎ 内線2243

# 「すこやかマップ」(川越市医療マップ)をお届けします

皆さんは、けがや急病などで医療機関に行く必要が生じたとき、病院や診療所がどこにあるのかわからず、慌てたことはありませんか。こんなときに、医療機関がわかる地図があれば、とても便利。

市では、市内の医療機関などが載っている地図「すこやかマップ」を作成しました。これは、救急のときだけでなく、大きな病院に患者が集中して混乱が生じているという状況に対処するため「かかりつけ医」を定着・推進しようというものです。

規格はA4判、四十八ページの冊子。市内が十六の区域に分けられていて、一つの区域が見開きで見ることが出来ます。地図上には病院・医院のほか、歯科医院、薬局、接骨・鍼灸などの施術所が載っているのが特徴。  
「すこやかマップ」は、十月下旬から十一月月上旬にかけて全家庭にお届けする予定です。毎日の生活にお役立てください。

## 「これが5の医療」

第八回健康まつりで、「かかりつけ医」をテーマにシンポジウムが開かれます。皆さんの参加をお待ちしています。  
日時：十一月六日(日)、午前十時十五分〜正午  
会場：市民会館やまぶき会館  
テーマ：気軽に相談できる「かかりつけ医」がありますか  
問い合わせ：健康課管理係 ☎ 内線2243



# いきいきシルバー

## 体力の限界に挑んだ十二時間二十分

四月に行われた外秩父縦走ハイキングで、四十・二キロを十一時間二十分で踏破した宮崎義信さん(79歳・藤間)。「ハイキングといっても、マラソンに匹敵する距離。しかも六百〜七百メートルの峰々を尾根伝いに規定時間(十二時間)内で歩かなければならない厳しい大会です。」「花満開の秩父連峰を眺める余裕もありませんでした」と語る宮崎さん。最高峰の剣ヶ峰から大霧山にかけては、痛む足に鎮痛スプレーを吹きつけながらなんとかゴールへ。宮崎さんが、ジョギングを始めたのは十二年前。定年退職後、糖尿病で太りだし、体力の衰えを感じたことがきっかけだそうです。近所にある小学校の二百メートルのグラ

ウンドを二周することを始めに。今は、約七キロの早朝のトレーニングを「朝飯前」にしているとのこと。「決めたことは、やり遂げる」という宮崎さん。この強い意志が、次々と記録に挑戦する源泉のように感じられました。「若い人にはまだまだ負けないんですよ」と、毎週日曜日の「走ろう会」の練習では、つい無理をしてしまうという宮崎さん。現在、高階走ろう会、高階歩こう会、高階園芸クラブの会長としてふだんも「走り回って」いるそうです。「夫婦共通の趣味を持みたい」と、歩こう会には、長年連れ添う奥さんと参加しています。

毎年、十一月三日に開催される川越ウォークソン大会。宮崎さんは、昭和五十七年の第一回から連続十二回参加しています。大会の趣旨である正しく、美しく、速く歩いた人に送られるスタイル賞を、過去三度受賞。今年の大会でも宮崎さんの元気な姿が見られることでしょう。



第46回川越市市民文化祭を開催中。よりどりみどりの催し物がいっぱいです。詳しくは、9月10日発行の広報川越をご覧ください。





# 山車に生まれ変わる

## 木花咲耶姫

ピーヒャララ、テンツクテンとお囃子の響きわたる秋祭りのシーズン到来！岸町二丁目自治会では屋台から山車への改修が完了しました。町内では、生まれ変わった山車が登場する秋祭りを楽しみにしています。



屋台から山車へと三年前から改修を進めていた岸町二丁目自治会。高さ八メートル、重さ五トン、ヒノキの白木造りの山車がついに完成しました。九月十八日(日)、岸町熊野神社前で開かれた竣工式では、富士山や桜をあしらった色鮮やかな四方幕の上に木花咲耶姫の人形が乗り、おほらいの神事やお囃子の奉納などが行われました。この日を楽しく迎えていた町内の方々には「ひと回り大きくなって、迫力がある。人形も優雅さがあって顔の表情も豊かだね」と好評でした。

これまで岸町二丁目には、昭和三十三年に造られたせり出し構造のない屋台があり、昭和三十年代に川越まつりに参加したこともあったそうです。「人形を乗せた川越まつりのような山車に」という気運が町内で高まり、平成三年十一月、車軸や回転台など痛みがげしくなったのをきっかけに造り直すことになりました。車輪以外はすべてが新しく生まれ変わった木花咲耶姫の山車。鳥頭坂にある歩道橋をくぐるようにと、山車の上部の取り外しができる構造になっているそうです。山車の顔でもある人形。木花咲耶姫は、古くから岸町の人々に信仰されていた富士浅間神社の祭神で、古事記によると岸町熊野神社の祭神であるイザナギノミコトの孫にあたることから決まったそうです。



「たくさんの方々協力していただいたおかげでりっぱな山車を完成することができました。自治会結束のシンボルに、そして子どもたちに「ふるさと川越」の思い出のひとつにしてもらえれば」と、予想以上という出来栄に喜んでいました。

山車でお囃子を演じるのは、江戸時代から代々伝わる王蔵流の岸町囃子連。会長の今橋勇さん(46歳)は「小学生のころ、川越まつりでわくわくしながら屋台を引いた思い出が忘れられなくて囃子連に入ったんです。山車の完成をきっかけに、祭りの楽しさを知ってほしい。子どもたちをわくわくさせるように盛り上げます」と、今年の秋祭りが待ち遠しそうです。

年々新しく移り住む人が増えている岸町。「大人から子どもまでたくさんの方が楽しめるお祭り。山車の完成で町内の秋祭りが盛り上がり、古くから住む人と新しく移り住んできた人が親ほくを深めるいい機会になります」と、山車に期待する自治会長の山崎正雄さん(58歳)。十月十四日(金)・十五日(土)の両日に町内を巡行し、お披露目を行う木花咲耶姫の山車。将来は、川越まつりに参加しようという声から町内から出てきているそうです。山車を通してコミュニケーションを深める岸町二丁目自治会。町内の結束はますます強まっています。



## 南の島サイパンへ

関野等 (69歳・豊田本)

学校の春休みを利用して、孫たちとサイパン島へ4泊5日の旅行に出かけました。サイパン島は成田から3時間少々近いです。気温32度、白い砂浜、澄んだ遠浅の海、ヤシの葉の揺れる南国の島でした。

初めての海外旅行の孫たちは、エキゾチックな景色に目をみはり、朝から晩まで水とたわむれ、島内・水中観光にと十分満ちた旅となりました。しかし、戦中派のわたしにとってのサイパンは、玉砕の島、日本を空襲したB29の基地の島であり、バンザイクリフや日本軍陣地跡など昔をしのぶ遺跡や展示物を見るにつけて、数多い慰霊塔や飛行機から眺めた硫黄島に心から手を合わせてきた鎮魂の旅でもありました。

旅行中たまたま孫の誕生日と重なり、ハッピーバースデーの歌で祝福してくれたレストランの皆さん、飛行中にコックピットの中に案内して祝ってくれたクルーの方々などの好意のおかげで望外に楽しく、孫たちにとっても忘れられない旅となりました。

旅行中たまたま孫の誕生日と重なり、ハッピーバースデーの歌で祝福してくれたレストランの皆さん、飛行中にコックピットの中に案内して祝ってくれたクルーの方々などの好意のおかげで望外に楽しく、孫たちにとっても忘れられない旅となりました。

## イラストコーナー



奥西麻由子 (15歳・南大塚)



養老橋(古市場)のたもとにあつて、古市場河岸で江戸時代から昭和初期にかけ、船問屋やしょうゆ醸造などで栄えた橋本家。河川改修工事に伴い、今年の三月に解体されました。この橋本家をカメラに収めてきた人たちが、九月二十八日(水)十月四日(火)に、県民ミニギャラリーで「有志による写真展」を開催。「解体を機に、橋本家を多くの人に知ってほしい」と、代表の中村修さん(45歳・坂戸市)ら二人が写真展を企画。賛同者を募ったところ、市内外から写真愛好家七人が集まり実現しました。展示されたのは、母屋兼店舗や外蔵などのモノクロ写真四十六点。会場には多くの人が訪れ、往時の面影をしのいでいました。橋本家は、現在市立博物館に保存されています。再建されるのが待ち遠しいと、中村さんたちは、口をそろえています。

はーとふる

## 写真で見る「橋本家」

養老橋(古市場)のたもとにあつて、古市場河岸で江戸時代から昭和初期にかけ、船問屋やしょうゆ醸造などで栄えた橋本家。河川改修工事に伴い、今年の三月に解体されました。この橋本家をカメラに収めてきた人たちが、九月二十八日(水)十月四日(火)に、県民ミニギャラリーで「有志による写真展」を開催。「解体を機に、橋本家を多くの人に知ってほしい」と、代表の中村修さん(45歳・坂戸市)ら二人が写真展を企画。賛同者を募ったところ、市内外から写真愛好家七人が集まり実現しました。展示されたのは、母屋兼店舗や外蔵などのモノクロ写真四十六点。会場には多くの人が訪れ、往時の面影をしのいでいました。橋本家は、現在市立博物館に保存されています。再建されるのが待ち遠しいと、中村さんたちは、口をそろえています。

## まちのできごと 109 パレット

川越市の面積は109.18km<sup>2</sup>



## 子どもたちで大にぎわい!

「川越いも」と呼ばれ、蔵造り・城下町とともに川越をイメージするサツマイモ。9月中旬から始まった市内のイモ掘り観光農園では、幼稚園児や家族連れでにぎわっています。今年のは、暑い夏のおかげで例年より豊作とか。子どもたちが自分の手でたくさんのサツマイモを掘り出し、おいしい秋の収穫を楽しんでいます。

## 環境にやさしく

排気ガスを出さず静かで環境にやさしい電気自動車。9月7日(休)、「環境優先・生活重視」を積極的に進める県から川越市をはじめとする県内28市町村に電気自動車(軽バン)が無償貸与されました。市民環境意識調査によると、身近に感じる公害のトップは自動車の排気ガス。日ごろから「車の利用は控えめに」を心がけたいですね。



関口一郎副知事から目録を受ける舟橋功一市長

## 小江戸川越をPR!

川越駅の東西自由通路に山車が登場しました。これは観光案内所に展示された、齋田嶺松さん(69歳・宮下町1)の高さ123センチメートルのミニチュアの山車。未だ町の高砂の山車を参考に、けやきで作られています。今にもお囃子が聞こえてきそう。同駅を利用する観光客を出迎え、小江戸川越のPRに一役買っています。



# 和紙にたくして7

萩

文 新井紀子さん  
 新井時子さん



月の光が明るくめぐる夜。  
 虫の音に耳を傾けているや  
 騒がしかった日中がうそのように遠のき  
 静かな空気が漂っている。  
 夜のしじまに心を投じて  
 草木の安らぐ吐息が  
 聞こえてくるよすがな気がする。  
 私にとって  
 萩は心に描く花。  
 萩が深まるにつれて  
 遠い野山への思ひがつのる。  
 出歩くたびにだけに費やした夏を過ぎ  
 季節の踊り場にたまたすむ私は  
 これから迎える長い冬を思いながら  
 ひたすらすすんでいく。

## とんがり

編集日記

私たちが食品の鮮度基準としてきた製造年月日の表示が消えるそうです。現行は表示が義務づけられていますが、来年4月から、「期限」表示に改まります（移行期間は2年）。期限の表示方法は2種。食品の劣化速度に応じて「消費期限」か「品質保持期限」（賞味期限でも可）が表示されます。製造・加工後数日間で腐敗する食肉、生めん類、弁当、そうざいなど劣化速度の早い食品には「消費期限」の表示がつき、清涼飲料水や冷凍食品、ハムなどの食肉製品、即席めん、牛乳など、比較的劣化速度が遅い食品には「品質保持期限」がつかます。また慣れるまでまごつきそうです。

表紙の写真（一番街の町並み・幸町）



## TV

### わが街川越 番組ガイド

38ch テレビ埼玉 毎週火曜日

午後5時30分～5時40分  
 午後10時15分～10時25分

■一部変更になることがあります。あらかじめご了承ください。



川越景観百選めぐり(市立図書館)

#### 10.11 川越景観百選めぐり

TUESDAY

平成4年に、市制施行70周年を記念して決定された「川越景観百選」。歴史と文化のまち川越のすばらしい景観を守り、新しい景観を創造するために選ばれた百選の景観をバスツアーの参加者といっしょに訪ねます。

#### 10.18 ごみのダイエット 市民からの提案

TUESDAY

「ごみ問題」をリサイクルや環境問題などの視点から探ります。番組では、市民から見たごみ事情や、市民のさまざまな取り組みを紹介しながら、「ごみ減量化と市民協力」の重要性について考えます。

#### 10.25 川越まつり

TUESDAY

江戸の天下祭りを今に伝える川越まつり。今年は、17台の山車が、手古舞姿の女の子を先頭に若衆たちに引かれて蔵の町へ繰り出します。番組では、10月15日(土)のひっかわせで最高潮を迎える祭りの様子をお届けします。

